

平成23年度 業務実績報告書

平成24年6月

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
(病院法人)

I 法人の概要

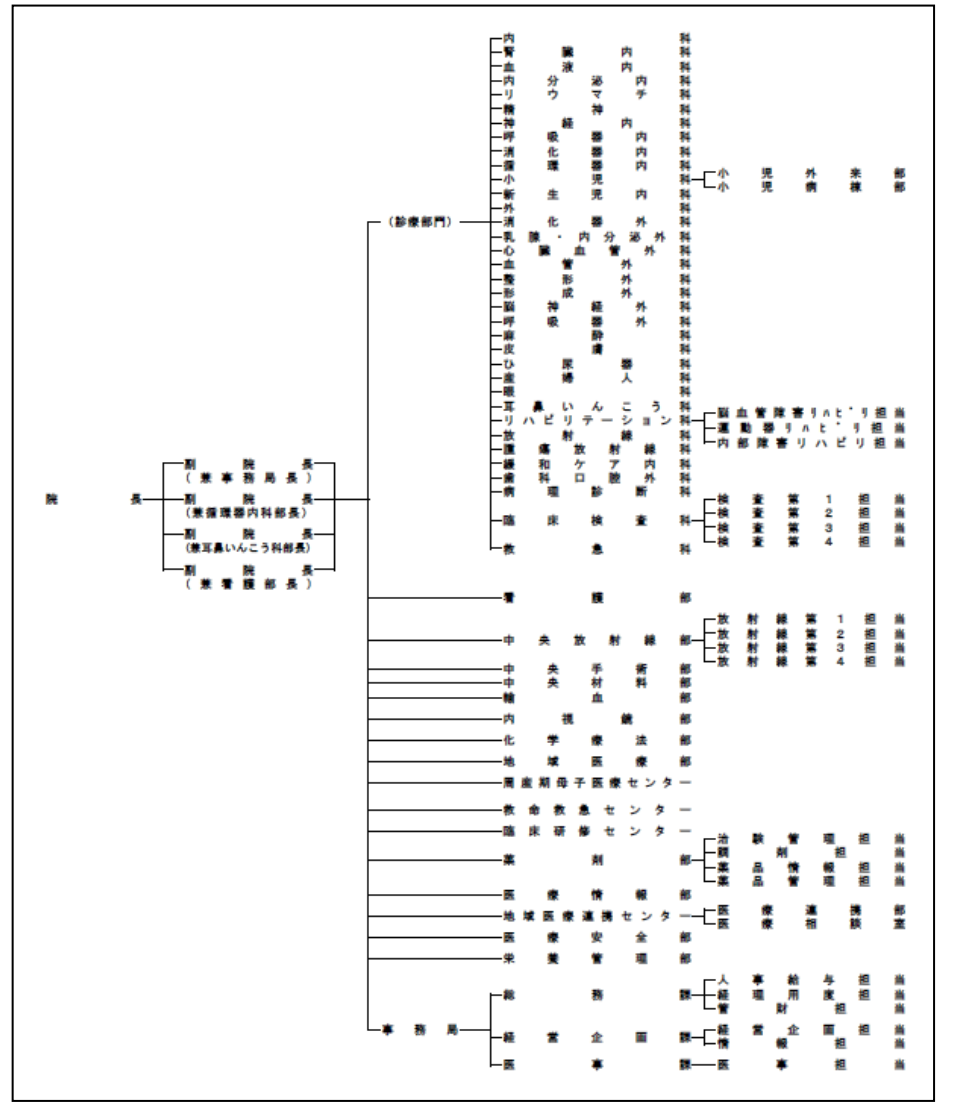
1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 多治見市前火町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	原田 明生	院長	理事	鈴木 藏	陶芸家 重要無形文化財保持者
副理事長	岩田 敏雄	副院長(事務局長)	理事	加藤 智子	ヤマカサ代表取締役
理事	横井 清	副院長	監事	木下 貴子	弁護士
理事	上田 幸夫	副院長	監事	下條 俊幸	公認会計士
理事	糸川 邦子	副院長(看護部長)			

(5) 組織図

平成23年4月1日現在



(6) 職員数（平成23年4月1日現在） 869人

職 種	医師（歯科医師含）	看護師 (准看護師、看護士含)	コメディカル	事務ほか	合 計
常 勤	110人	445人	110人	36人	701人
非常勤	22人	81人	14人	51人	168人
合 計	132人	526人	124人	87人	869人

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県立多治見病院においては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県立多治見病院として、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の医療の最後の砦として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
診療科: 35科
- (2) 所在地 多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 沿革

年	月	概 要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）完成
昭和63年	12月	MR I 棟完成
平成 2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成20年	9月	DMERC（ドクターカー）運用開始
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設

(4) その他

①基本理念

安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。

②行動指針

- ・分かりやすい言葉で、分かりやすく説明します
- ・安全を何度も確認することを怠りません
- ・常に高度先進医療を取り入れ、最新・最高の医療を目指し自己研鑽に努めます
- ・倫理観に基づく医療人としての誇りと自覚をもって取り組みます
- ・健全経営に努めます

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組の状況

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、医療を取り巻く環境の変化、医療技術の進歩に対応し、良質かつ高度な医療を提供できるよう、必要な職員の確保やスキルアップの支援、医療機器の計画的な購入、診療効率アップ及び患者サービス向上のための施設整備を重点的に行った。

地域がん診療連携拠点病院としての責任と地域から期待されるがん治療の推進にこたえることを目的として、がんの放射線治療レベルを向上させ、患者負担を軽減できる高精度放射線治療装置を導入することとし、放射線治療棟の建設工事に着工するとともに機器本体の購入契約を締結した。また、所管行政庁等への許認可手続き、担当職員の研修等も同時に進め、平成24年秋の運用開始に向け準備を整えた。

新病棟移転後の空きスペースに点滴治療センターを新設、内視鏡室及び採血センターを移転整備した。これにより、従来各診療科処置室内で行っていた点滴投与を集約して行えるようになったため、診療効率が格段に向上した。内視鏡室及び採血センターについても移転整備したことにより、患者のプライバシー保護の向上、待ち時間の短縮などの効果が得られた。また、外来駐車場の整備と同時に駐車場を有料化したことにより、無断駐車が一掃され、必要な駐車スペースの確保と近隣道路の渋滞を解消することができた。

近隣の医療機関との病病連携、病診連携を推進するため、医療連携室に医療相談室、退院調整を統合し地域医療連携センターを設置し、事務職員を1名配置した。これを契機に医療機関からの予約申込の簡素化や、開放型病床登録医を対象とした訪問活動、情報発信を積極的に行った結果、紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。

また、地域医療連携パスについては、狭心症・心筋梗塞パスの運用を開始し、糖尿病についても院内医師をはじめとしたプロジェクトチームにより検討を重ね、平成24年度に運用開始できる体制を整えた。さらに大腿骨頸部骨折と脳卒中の地域連携パスについては、東濃西部地域での運用に限定してきたが、東濃地域全域の患者を対象に運用できるよう総合病院中津川市民病院との協力体制を構築した。

精神科病棟の開設に向けて準備委員会を立ち上げ、マニュアル等の整備を行った。また、各方面に働きかけた結果、常勤の精神科医師1名を増員できたことに加え、平成24年度からは新規に医師2名の確保が可能となったため、平成24年5月からの開設準備が整った。

1-2 調査研究事業

医療総合情報システムに蓄積された医療データの積極活用や、カンファレンス等を通じた情報共有により医療の質の向上を図った。また、昨年度に導入したDPC分析システムを活用し、DPC委員会(年6回開催)の主導で、症例別、疾患別の検討、ベンチマーク分析などを行い課題を検証した。また、地域医療機関や地域住民に対しては、病院が保有する保健医療情報を広く公開するため、

市民公開講座の開催及び広報誌「けんびょういん」の発行などを行った。さらに平成23年度は、新たに日本病院会の内容を参考に臨床指標(クリニカルインディケータ)を作成し、ホームページ上で公表した。

1-3 教育研修事業

医療従事者が最新の医療技術や知識習得できるよう学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。特に研修医については学会での発表を推奨した。

平成23年度から初期臨床研修において、研修医が指導医や研修プログラムの評価を行い、より良い研修制度の確立を推進している。さらに研修医の希望するテーマに沿い、院内外の医師等を講師として招聘し、早朝勉強会や講演会を実施した。

また、医学部生、看護学生等の実習生を積極的に受け入れ、医療従事者の育成に努めた。同時に救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1-4 地域支援事業

地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携を強化し、それぞれの特色を生かした医療資源の有効活用、地域完結型医療を目指し、医師会長をはじめとした医療関係団体の代表者、関係行政機関代表者、学識経験者で構成する地域医療連携推進協議会を4回開催した。協議会を通じて地域医療連携パスの推進や、高度医療機器の共同利用等の推進を働きかけた結果、平成23年度は恒常的に患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。(紹介率62.7%、逆紹介率83.8%)

医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への人的支援については、平成22年度に引き続き国民健康保険上矢作病院へ医師を派遣した。

地域全体の医療従事者資質向上のため、緩和ケア医師研修会、緩和ケア講演会、緩和ケア勉強会、診療科別の症例検討会等を開催した。また、次世代の地域医療の担い手育成のため、多治見看護専門学校、中京学院大学等に医師、認定看護師等を講師として派遣した。

1-5 災害等発生時における医療救護

平成23年10月26日付けで災害拠点病院(地域災害医療センター)の指定を受けた。

東日本大震災の被災地を支援するため、平成22年度末の災害派遣医療チーム(DMAT)等の活動に引き続き、医師、看護師、薬剤師、事務職員で構成された医療救護班を宮城県へ、精神科医、看護師で構成された心のケアチームを福島県へ派遣し、避難所での診療や精神面のケアを行った。

DMATについては、厚生労働省医政局の派遣要請に常時対応できるよう、チームの質の向上、維持のため、厚生労働省、中部地区、岐阜県の開催する訓練に参加した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組の状況

医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう、「経営企画課」を設置し、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。また、「地域医療連携センター」を立ち上げ、地域医療連携の強化に本格的に着手できる体制を整えた。

医事業務委託にプロポーザル方式による複数年契約や成果報酬制度を採用し、費用の節減、事務の合理化を図った。また、レセプトチェックシステム、DPCコーディング検証の導入により、効率的な事務の推進、収益向上を図った。

平成23年度から病院経営に関するコンサルティングを専門の業者へ委託し、契約手法や仕様の見直し、経費の節減についての検討を行った。この結果を基に交渉し、薬品、診療材料の購入経費、機器の保守点検委託費用等を大幅に節減した。

医師の負担軽減を目的に平成22年度から医師事務作業補助者を採用している。平成23年度は、7名から16名に増員し、配置部署も3部署から7部署に拡充した。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）の状況

収益面では、医療連携の強化による外来患者数の増加や診療単価の増などにより医業収益において対前年2.8%増の見込みに対し2.7%の増となり、収益全体でも計画に比べ0.4%（+68百万円）の増となった。

費用面では、材料費や経費（特に委託料）におけるコンサルタントを活用した価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力によって、計画に比べ約130百万円縮減することができ、費用全体としても計画と比べて0.8%（△110百万円）の減少となった。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は186百万円の黒字となり、経常収支比率も102.0%と目標である100%以上を昨年度に引き続き達成した。

しかし、職員給与費対医業収益比率については、7対1看護体制に向けた看護師の増員等により計画50.8%に対し51.5%となった。

$$\text{経常収支比率} = (\text{営業収益} + \text{営業外収益}) \div (\text{営業費用} + \text{営業外費用}) \times 100$$

営業収益 14,457,662千円

営業外収益 139,837千円

営業費用 13,864,130千円

営業外費用 444,675千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項の状況

平成22年度に引き続き、必要な人員の確保、職員が執務に集中できる環境作り、効率的な職員の配置に取り組んだ。

必要な看護師数確保のため、県内外の就職ガイダンスに積極的に参加するとともに、院内保育所の病児保育導入等の環境整備にも取り組んだ。

また、職員の健康管理について、法定検診（定期健康診断、人間ドック）、任意検診等（各種抗体検査、予防接種等）を確実に受診させるよう働きかけた。さらにメンタルヘルス対策にも取り組んだ。医師事務作業補助者の積極的な採用により、医師の業務負担軽減に努めた。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果	
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備	02	Ⅲ	
			(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	03	Ⅲ	
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅲ	
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅲ	
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	
			(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備	08	Ⅲ	
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善	09	Ⅲ		
		(2) 院内環境の快適性向上	10	Ⅲ		
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ		
		(4) 患者中心の医療の提供	12	Ⅲ		
		(5) インフォームドコンセント・サトウハチローの徹底	13	Ⅲ		
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ		
	1-1-3 診療体制の充実	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	15	Ⅲ		
		(2) 多様な専門職の積極的な活用	16	Ⅲ		
	1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	17	Ⅲ		
		(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	18	Ⅲ		
		(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	19	Ⅲ		
	1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急医療	20	Ⅲ		
		(2) 心臓血管疾患医療	21	Ⅱ		
		(3) 母子周産期医療	22	Ⅲ		
		(4) がん診療拠点	23	Ⅲ		
		(5) 精神科医療・感染症医療	24	Ⅳ		
		(6) 緩和ケア	25	Ⅲ		

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
	1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験管理事務、治験コーディネーター業務推進のための人材育成、体制強化及び受託件数の増加	26	Ⅲ		
			1-2-2 診療等の情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	27	Ⅲ	
				(2) 集積したエビデンスの活用	28	Ⅲ	
	1-2-3 保健医療情報の提供・発信	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	29	Ⅲ			
		(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	30	Ⅲ			
	1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	31	Ⅲ		
			(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等	32	Ⅲ		
	1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	33	Ⅲ			
		(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	34	Ⅲ			
	1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	35	Ⅲ		
			(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	36	Ⅲ		
		1-4-2 社会的な要請への協力		37	Ⅲ		
	1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施)	38	Ⅲ		
			1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣	39	Ⅲ	
		(2) DMATの質の向上と維持		40	Ⅲ		
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	41	Ⅲ		
			(2) 各種業務のIT化の推進	42	Ⅲ		
			(3) アウトソーシング導入による合理化	43	Ⅲ		
			(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立	44	Ⅲ		
			(5) 時差出勤制度の導入	45	Ⅲ		
	2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用	(1) 弾力的運用の実施	46	Ⅲ			
		(2) 効果的な体制による医療の提供	47	Ⅳ			
		(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	48	Ⅲ			
		2-1-3 人事評価システムの構築		49	Ⅱ		
		2-1-4 事務部門の専門性の向上		50	Ⅲ		
2-2	2-2-1 多様な契約手法の導入		51	Ⅲ			

大項目	中項目		小項目	項目通番	自己評価	検証結果
	業務運営の見直しや効率化による収支改善	2-2-2 収入の確保	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用、DPCの推進	52	III	
			(2) 未収金の発生防止対策等	53	III	
		2-2-3 費用の削減	54	III		
3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画			55	III	
4	短期借入金の限度額			—	—	—
5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			—	—	—
6	剰余金の使途			—	—	—
7	料金に関する事項（※年度計画に対応項目なし）			—	—	—
業務運営に関する事項	8 その他県の規則で定める	8-1 職員の就労環境の向上	(1) (病院全体の勤務環境の改善)	56	III	
			(2) (保育所の受け入れ体制の強化)	57	III	
			(3) (看護師の就労環境の整備)	58	III	
			(4) (健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実)	59	III	
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		60	III	
	8-3	医療機器・施設整備に関する事項		61	III	
8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項		62	III		

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-1 診療事業
1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標	3 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項
	<p>3-1 診療事業</p> <p>東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>3-1-1 より質の高い医療の提供</p> <p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
01	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 CT (64・128スライス)、3T MRI、PET/CT、連続血管撮影装置、超音波診断装置、ESWL、内視鏡、手術用顕微鏡など高度医療機器を整備しているが、老朽化した機器も現存しているため、診療各科の需要に応じて新規購入及び更新を計画的に進める。	III				<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術件数の増加に対応するため手術関連機器の増設更新を図る。 現在使用中の放射線治療器の更新時期となり、昨年度、院内の専門委員会にて、近隣医療機関の機器保有状況、地域における放射線治療の必要性などを考慮し、地域がん診療連携拠点病院としてふさわしい高精度放射線治療機器の導入を決定した。今年度は、平成24年度秋の本格稼働に向け、治療棟の建設、機器本体の購入、関係省庁への許認可手続きを進める。 その他医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進める。 	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 下肢牽引が必要な骨接合術が増加したことに伴い、牽引手術台を1台増設した。 手術が重複した際の運用に支障をきたしていた電気手術装置(電気メス)、超音波凝固切開装置(胸腔内組織の切離止血や郭清に使用)を各1台増設した。 高精度放射線治療機器の導入を決定した。平成24年度秋の稼働に向け、治療棟の建設に着手、機器本体の購入契約を締結し、関係省庁への許認可手続きを進めた。 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
						【更新・整備を実施した機器の稼働件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H 2 2</td> <td>20 件/月</td> <td>20 件/月</td> </tr> <tr> <td>負荷用エルゴメータシステム</td> <td>H 2 2</td> <td>38 件/月</td> <td>35 件/月</td> </tr> <tr> <td>調剤支援システム</td> <td>H 2 2</td> <td>毎 日</td> <td>毎 日</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H 2 2</td> <td>20 件/日</td> <td>20 件/日</td> </tr> <tr> <td>放射線治療計画装置</td> <td>H 2 3</td> <td>-</td> <td>44 件/月</td> </tr> </tbody> </table> ※平成 22・23 年度に更新整備した主な機器が対象				機器名	整備年度	H 2 2	H 2 3	電子内視鏡ファイリングシステム	H 2 2	20 件/月	20 件/月	負荷用エルゴメータシステム	H 2 2	38 件/月	35 件/月	調剤支援システム	H 2 2	毎 日	毎 日	超音波診断装置	H 2 2	20 件/日	20 件/日	放射線治療計画装置	H 2 3	-	44 件/月		
機器名	整備年度	H 2 2	H 2 3																																
電子内視鏡ファイリングシステム	H 2 2	20 件/月	20 件/月																																
負荷用エルゴメータシステム	H 2 2	38 件/月	35 件/月																																
調剤支援システム	H 2 2	毎 日	毎 日																																
超音波診断装置	H 2 2	20 件/日	20 件/日																																
放射線治療計画装置	H 2 3	-	44 件/月																																
02	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 職員の負担を軽減するため、職種毎の業務量に見合った人員数を確保し、時間外勤務の縮減に努めるとともに、職務に専念できる環境整備の一環として、院内保育所についてソフト面、ハード面の両面から充実を図り、働きやすい環境の整備及び職員の定着化を図る。	III			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・ コメディカル部門のうち放射線業務及び臨床検査業務について非常勤職員を配置し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入する。これにより職員一人あたりにかかる負担が軽減され、労働環境の改善が見込まれる。 ・ 院内保育所については、近隣病院の運営状況を参考に保育対象年齢の見直し、病児保育、夜間保育の早期実現を目指す。また、それに対応できるだけの保育士数を確保する。	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・ 臨床検査業務について平成 23 年 4 月 1 日から非常勤職員 3 名を配置し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入した。臨床検査科全体で年間 3,817 時間の時間外勤務縮減を達成した。 ・ 放射線業務については、高精度放射線治療機器の運用と合わせ二交代制勤務の導入に向け平成 24 年 4 月 1 日採用の職員 6 名を内定した。これにより時間外勤務の縮減の効果が期待される。 ・ 院内保育所については、平成 23 年 10 月 1 日から病児保育を開始した。また、夜間保育のニーズを把握するために全看護職員を対象とした調査を実施した。	III																												
						【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37 人</td> <td>44 人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10 人</td> <td>9 人</td> </tr> </tbody> </table>				区分\年度	H 2 2	H 2 3	入所者数	37 人	44 人	保育士数	10 人	9 人																	
区分\年度	H 2 2	H 2 3																																	
入所者数	37 人	44 人																																	
保育士数	10 人	9 人																																	
03	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 高度な医療を提供できる医師の養成のため、関連大学や学会における教育研修に積極的に参加させ、院内においてフィードバックできる体制の確立と研修医に対する充実した研修プログラムを実行する。	III			(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・ 名古屋大学、名古屋市立大学とは従来どおり関連する各科の医師の教育研修や連携を継続する。	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・ 名古屋市立大学から 1 年間にわたり臨床研修医 2 名を受け入れ、研修を実施した。 ・ 平成 23 年 8 月 1 日に東海テレビアナウンス局長を講師として、医師を対象とした「コミュニケーション能力の養成講座」を開催した。(参加者	III																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
						<p>40名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度な医療を提供できる医師の養成のため各種学会、研修会等に参加する医師に関して、旅費等の経費負担について支援し、専門性の向上を推進した。 <p>学会参加者110名(参加回数:240回)</p> <p>【海外学会への派遣実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣用務</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>欧州心臓学会会議2011</td> <td>フランス・パリ</td> </tr> <tr> <td>第15回精神医学の世界議会</td> <td>アルゼンチン・ブエノスアイレス</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」の主催する「指導医養成講座」に2名を受講させ、臨床研修体制の強化を図った。 <p>【医師の研修派遣・受入実績人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>328人</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>26人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣用務	派遣先	欧州心臓学会会議2011	フランス・パリ	第15回精神医学の世界議会	アルゼンチン・ブエノスアイレス	区分\年度	H22	H23	派遣	328人	304人	受入	26人	20人		
派遣用務	派遣先																						
欧州心臓学会会議2011	フランス・パリ																						
第15回精神医学の世界議会	アルゼンチン・ブエノスアイレス																						
区分\年度	H22	H23																					
派遣	328人	304人																					
受入	26人	20人																					
04	(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修を計画的に実施する。	III			<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修を計画的に実施する。 認定看護師教育については、昨年度に「救急看護」の講義実習に参加した看護師1名に対し、確実に資格取得できるよう支援を行う。また、「糖尿病認定看護師」、「手術室認定看護師」、「脳卒中認定看護師」について希望者を募り、資格取得のための講義・実習に参加させるよう計画している。 専門看護師については、「がん看護専門看護師」資格を1名が取得予定のため、認定看護師同様、確実に資格取得できるよう支援を行う。 	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修を計画的に実施した。 「救急看護認定看護師」については、1名が資格を取得した。 「糖尿病認定看護師」、「手術室認定看護師」は該当なし。 「脳卒中リハビリテーション認定看護師」、「慢性心不全認定看護師」については、研修機関に合格したため平成24年度に研修参加を予定している。 専門看護師については、「がん専門看護師」試験に合格し資格を取得した。 	III																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						【認定看護師・専門看護師数】(各年度末時点)				
						区分	分野	H22 人数	H23 人数	
						認定	皮膚・排泄ケア	2名	2名	
					集中ケア		2名	2名		
					緩和ケア		1名	1名		
					がん化学療法看護		1名	1名		
					がん性疼痛看護		1名	1名		
					感染管理		2名	2名		
					新生児集中ケア		1名	1名		
					摂食・嚥下障害看護		1名	1名		
					救急看護			1名		
					計		11名	12名		
					専門	がん看護	1名	2名		
					合計		12名	14名		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																												
05	(5) コメディカルに対する専門研修の実施 国、岐阜県等が主催する講習会、研修会の参加支援、また、先進病院への出向研修支援を行い、各種認定資格の取得促進することで専門性を高め、優れた技能・知識を有する職員を養成する。	III				<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">【薬 剤 部】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 </td> <td> <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p> </td> </tr> <tr> <th colspan="2">【中央放射線部】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者養成講習会 乳房線量ガイドライン・精量管理研修会 がん医療における放射線治療の品質管理高度専門教育セミナー 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 </td> <td> <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p> </td> </tr> <tr> <th colspan="2">【臨床検査科】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 各種二級臨床検査士 その他各種学会、研修会への参加 </td> <td> <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を</p> </td> </tr> </table>	【薬 剤 部】		<ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 	<p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p>	【中央放射線部】		<ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者養成講習会 乳房線量ガイドライン・精量管理研修会 がん医療における放射線治療の品質管理高度専門教育セミナー 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 	<p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p>	【臨床検査科】		<ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 各種二級臨床検査士 その他各種学会、研修会への参加 	<p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を</p>	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、平成22年度に引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">【薬 剤 部】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得 1名 認定学会への参加等資格取得への支援を行った。 </td> </tr> <tr> <th colspan="2">【中央放射線部】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> PET使用施設に必要なPET研修 マンモグラフィ技術更新講習会 高精度放射線治療の基礎知識再構築 高精度放射線治療導入に伴うトレーニング 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 放射線治療従事者の新人研修 その他 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 1名参加 1名受講 2名参加 ベルリンにて研修2名 (医師1名、技師1名) 参加 1名参加 2名参加 各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加 </td> </tr> <tr> <th colspan="2">【臨床検査科】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤作業主任者資格 細胞検査士 学会参加 研修会参加 その他 (院内) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得 1名 受験 1名 (一次試験合格) 4学会 11人 12研修会 19人 13研修、研究会 27人 </td> </tr> <tr> <th colspan="2">【リハビリテーション科】</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日本心臓リハビリテーション学会 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> PT5名参加、その内2名がH24年度、心臓リハビリテーション指導士認定試験受験予定 </td> </tr> </table>	【薬 剤 部】		<ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得 1名 認定学会への参加等資格取得への支援を行った。 	【中央放射線部】		<ul style="list-style-type: none"> PET使用施設に必要なPET研修 マンモグラフィ技術更新講習会 高精度放射線治療の基礎知識再構築 高精度放射線治療導入に伴うトレーニング 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 放射線治療従事者の新人研修 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 1名参加 1名受講 2名参加 ベルリンにて研修2名 (医師1名、技師1名) 参加 1名参加 2名参加 各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加 	【臨床検査科】		<ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤作業主任者資格 細胞検査士 学会参加 研修会参加 その他 (院内) 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得 1名 受験 1名 (一次試験合格) 4学会 11人 12研修会 19人 13研修、研究会 27人 	【リハビリテーション科】		<ul style="list-style-type: none"> 日本心臓リハビリテーション学会 	<ul style="list-style-type: none"> PT5名参加、その内2名がH24年度、心臓リハビリテーション指導士認定試験受験予定 	III		
【薬 剤 部】																																						
<ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 	<p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p>																																					
【中央放射線部】																																						
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者養成講習会 乳房線量ガイドライン・精量管理研修会 がん医療における放射線治療の品質管理高度専門教育セミナー 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 	<p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p>																																					
【臨床検査科】																																						
<ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 各種二級臨床検査士 その他各種学会、研修会への参加 	<p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を</p>																																					
【薬 剤 部】																																						
<ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得 1名 認定学会への参加等資格取得への支援を行った。 																																					
【中央放射線部】																																						
<ul style="list-style-type: none"> PET使用施設に必要なPET研修 マンモグラフィ技術更新講習会 高精度放射線治療の基礎知識再構築 高精度放射線治療導入に伴うトレーニング 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 放射線治療従事者の新人研修 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 1名参加 1名受講 2名参加 ベルリンにて研修2名 (医師1名、技師1名) 参加 1名参加 2名参加 各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加 																																					
【臨床検査科】																																						
<ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤作業主任者資格 細胞検査士 学会参加 研修会参加 その他 (院内) 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得 1名 受験 1名 (一次試験合格) 4学会 11人 12研修会 19人 13研修、研究会 27人 																																					
【リハビリテーション科】																																						
<ul style="list-style-type: none"> 日本心臓リハビリテーション学会 	<ul style="list-style-type: none"> PT5名参加、その内2名がH24年度、心臓リハビリテーション指導士認定試験受験予定 																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
						<p>支援する。</p> <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本心臓リハビリテーション学会に参加（心臓リハビリテーション指導士） ・呼吸解除手技研修会（ベーシックコース・アドバンスコース） ・関西看護ケア研修会 呼吸リハビリテーション2daysセミナー ・感覚統合療法入門講習会基礎コース ・日本自閉症スペクトラム学会第1回研修会 ・終末期・緩和ケア作業療法研究会 ・第45回日本作業療法士学会心臓リハビリテーション指導士 <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p> <p>【栄養管理部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム（NST）専門療養士 ・病態栄養専門師 <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸介助手技研修講習会 PT・OT各1名受講 ・終末期・緩和ケア作業療法研究会 OT1名参加 <p>【栄養管理部】</p> <table border="1"> <tr> <td>日本糖尿病療養指導士機構認定の糖尿病療養指導士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム（NST）専門療養士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門師</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> </table> <p>【コメディカル専門研修の参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>16人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>25人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>22人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>2人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>36人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>10人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>111人</td> <td>125人</td> </tr> </tbody> </table>	日本糖尿病療養指導士機構認定の糖尿病療養指導士	資格取得 1名	栄養サポートチーム（NST）専門療養士	資格取得 1名	病態栄養専門師	資格取得 1名	区分\年度	H22	H23	薬剤師	16人	25人	検査技師	25人	37人	放射線技師	22人	27人	臨床工学技士	2人	8人	リハビリ技師	36人	21人	管理栄養士	10人	7人	合計	111人	125人		
日本糖尿病療養指導士機構認定の糖尿病療養指導士	資格取得 1名																																						
栄養サポートチーム（NST）専門療養士	資格取得 1名																																						
病態栄養専門師	資格取得 1名																																						
区分\年度	H22	H23																																					
薬剤師	16人	25人																																					
検査技師	25人	37人																																					
放射線技師	22人	27人																																					
臨床工学技士	2人	8人																																					
リハビリ技師	36人	21人																																					
管理栄養士	10人	7人																																					
合計	111人	125人																																					
06	<p>(6) EBMの推進</p> <p>各診療科の疾患についてのガイドラインに基づいた診療の確立と院内での治療成績などの集積を充実しEBM（Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療）の実践を推進する。</p>	III			<p>(6) EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な分野において新たに作成された診療ガイドラインに基づいたクリニカルパスを作成し治療の標準化を目指す。 	<p>(6) EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各診療科において診療ガイドラインを整備した。また、クリニカルパスも145件と充実した。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名</th> <th>パス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名	パス数	産婦人科	20	整形外科	31	呼吸器科	18	外科・消化器外科	26	その他	50	III																				
診療科名	パス数																																						
産婦人科	20																																						
整形外科	31																																						
呼吸器科	18																																						
外科・消化器外科	26																																						
その他	50																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項										
						<ul style="list-style-type: none"> 治療成績や手術、検査などの実績について検討し、EBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) に基づいた治療をめざす。 	<p>【クリニカルパス種類数・使用数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>1 4 3種</td> <td>1 4 5種</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>5, 5 9 7件</td> <td>5, 7 0 2件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> EBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) に基づいた医療をめざし、臨床指標 (クリニカルインディケータ) を整理し、ホームページ上で公開した。 	区分\年度	H 2 2	H 2 3	種類数	1 4 3種	1 4 5種	使用数	5, 5 9 7件	5, 7 0 2件				
区分\年度	H 2 2	H 2 3																		
種類数	1 4 3種	1 4 5種																		
使用数	5, 5 9 7件	5, 7 0 2件																		
07	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <p>医療安全部におけるインシデントレポートの集積分析及び事例の検討、アクシデントに対する迅速な対応を行い、毎月安全管理における検討と年2回の研修会及び各部署における検討会を行い事例及び対策などの共有化を図る。</p>	III			<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療の質および安全の確保のため毎月医療安全管理委員会を開催し、インシデント、アクシデントレポートの集積分析を行う。その分析結果を活用して医療安全部、医療安全管理委員会の活動を通じて全職員に周知啓蒙し、組織横断的に積極的に医療安全について働きかけを行う。 専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援して計画的に医療安全に関する活動を充実させる。 院内研修会 (外部講師や職員によるシンポジウム等) を年2回行う。 	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデントレポートの集積分析を毎月行い、医療安全部会で検討し、医療安全管理委員会の活動を通じて全職員に周知した。インシデントレポートは平成22年度166件/月、平成23年度220件/月と報告件数の増加がみられている。医療安全管理委員会では、医療安全対策に重要なインシデント事例 (3~6事例/月) の検討を行った。 <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1, 991 件</td> <td>2, 642 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>19 件</td> <td>21 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2, 010 件</td> <td>2, 663 件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルの改訂などを通して全職員に注意喚起を周知した。内容によっては現場の負担を軽減させつつ、患者の安全を確保するための具体的な方法を提示するために小委員会を結成し対応した。 医療安全管理者は、現場をラウンドするなど積極的に情報収集を行い、医療安全部のスタッフが連携して問題解決に取り組んでいる。 幹部会議において早期にインシデント、アクシデントについての問題点や解決策などを協議し 	区分\年度	H 2 2	H 2 3	インシデント	1, 991 件	2, 642 件	アクシデント	19 件	21 件	合計	2, 010 件	2, 663 件	III	
区分\年度	H 2 2	H 2 3																		
インシデント	1, 991 件	2, 642 件																		
アクシデント	19 件	21 件																		
合計	2, 010 件	2, 663 件																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
							<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護部では、リスクマネージャーに対し、積極的に研修会を開催し、活動を支援している。 医療安全研修会を開催し、内容を録画のうえ各部署で伝達講習を行った。 <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月29日</td> <td>せん妄状態の早期発見と対応について ～それぞれの立場での、せん妄患者の対応と実際～</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>2月2日</td> <td>医療メデイエーション ～日常診療から医療紛争まで～</td> <td>328人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	9月29日	せん妄状態の早期発見と対応について ～それぞれの立場での、せん妄患者の対応と実際～	146人	2月2日	医療メデイエーション ～日常診療から医療紛争まで～	328人		
開催日	テーマ	参加人数																
9月29日	せん妄状態の早期発見と対応について ～それぞれの立場での、せん妄患者の対応と実際～	146人																
2月2日	医療メデイエーション ～日常診療から医療紛争まで～	328人																
08	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染管理看護師を中心にサーベイランス、コンサルテーション、職員教育等を実施し、院内の感染防止対策に務める。</p>	IV			<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染認定看護師2名(うち1名専従)を中心に各部署のリンクナースに働きかけ共同で感染防止対策を行う。 毎金曜日にICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)ラウンドを実施し、院内各部署を巡回し、改善指導を行う。 院内職員及び患者を対象とした手洗いキャンペーンを実施する。 インフルエンザなど感染症患者が発生した場合には、感染防止委員会の委員で構成されたICTを中心に、すみやかに対応を協議し、感染拡大の防止に努める。 	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)と各部署から選抜されたリンクナース17名が協働し、感染対策を実施した。 月1回のICT会議、週1回の抗菌薬適正使用カンファレンスやラウンドを実施し、医師や病棟スタッフに対し教育や指導、アドバイス、情報交換などを行い感染対策の強化を図った。 11月9日に手洗いキャンペーンを実施し、院内職員・患者合わせて174名が参加した。 感染対策マニュアルを全面改定し、アウトブレイクの対応やMRSAやインフルエンザなど病原体の項目を追加し、より活用しやすいものとした。 アウトブレイクや流行性疾患患者・職員を確認した場合、ICTが早急に対応できる体制を強化した。 	III											

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期目標	<p>3-1-2 患者・住民サービスの向上</p> <p>来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																
09	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>診療時間帯の延長、検査機械の稼働率向上化、医師等の配置及び手術室の運用の改善等による手術実施体制の再整備により、診療待ち時間の短縮や検査、手術待ちの改善を図る。</p>	III				<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 新病棟建設工事(二期工事)の完了により駐車場が整備され駐車台数が大幅に増加した。また、駐車場の整備を機に、利用者から受益者として管理に必要な経費を負担してもらうことを目的に駐車場の有料化を実施する。駐車場の効率的な運用により、周辺道路の渋滞を緩和させ、駐車場進入時の待ち時間縮減を目指す。 患者の利便性向上、身体的負担の軽減を目的に中央診療棟・東病棟において、内視鏡室及び中央採血室の移転改修工事、外来点滴センターの新設工事を実施する。工事完了後は、効率的な運営により検査や処置の待ち時間を改善する。 	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月1日から外来駐車場を有料化したことにより、無断駐車が一掃され、駐車場の効率的運用が可能になった。駐車場入庫に係る待ち時間が解消し、患者の利便性が向上した。 平成22年度の新病棟完成により使用されなくなった空きスペースを有効活用し、7月に内視鏡室を移転、外来点滴センターを新設、さらに10月には内視鏡室移転跡地に中央採血室を、12月には中央採血室跡地に救急外来受付を移転し、診療効率の向上を図った。 <p>【施設整備の内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修前</th> <th>面積</th> <th>改修後</th> <th>改修の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央診療棟1階 薬剤部・化学療法治療室</td> <td>㎡ 477.71</td> <td>内視鏡室 外来点滴センター(新設)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 患者様のプライバシー保護 検査後のカギリール確保 執務環境の改善等 各診療科の処置用バグの不足 各診療科の点滴を集約して実施し効率的に管理 </td> </tr> <tr> <td>東病棟1階 内視鏡室</td> <td>126.00</td> <td>中央採血室</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 採血パットの拡充 専用の採尿室の確保 </td> </tr> <tr> <td>東病棟1階 中央採血室</td> <td>35.61</td> <td>救急外来受付</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 中待合の解消 救急患者搬送時の患者待合の導線の分離 </td> </tr> </tbody> </table>	改修前	面積	改修後	改修の理由	中央診療棟1階 薬剤部・化学療法治療室	㎡ 477.71	内視鏡室 外来点滴センター(新設)	<ul style="list-style-type: none"> 患者様のプライバシー保護 検査後のカギリール確保 執務環境の改善等 各診療科の処置用バグの不足 各診療科の点滴を集約して実施し効率的に管理 	東病棟1階 内視鏡室	126.00	中央採血室	<ul style="list-style-type: none"> 採血パットの拡充 専用の採尿室の確保 	東病棟1階 中央採血室	35.61	救急外来受付	<ul style="list-style-type: none"> 中待合の解消 救急患者搬送時の患者待合の導線の分離 	III		
改修前	面積	改修後	改修の理由																							
中央診療棟1階 薬剤部・化学療法治療室	㎡ 477.71	内視鏡室 外来点滴センター(新設)	<ul style="list-style-type: none"> 患者様のプライバシー保護 検査後のカギリール確保 執務環境の改善等 各診療科の処置用バグの不足 各診療科の点滴を集約して実施し効率的に管理 																							
東病棟1階 内視鏡室	126.00	中央採血室	<ul style="list-style-type: none"> 採血パットの拡充 専用の採尿室の確保 																							
東病棟1階 中央採血室	35.61	救急外来受付	<ul style="list-style-type: none"> 中待合の解消 救急患者搬送時の患者待合の導線の分離 																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
						<ul style="list-style-type: none"> 外来待ち時間調査を年2回程度実施して、外来患者の待ち時間を把握し、予約枠の見直しや予約受付の改善に努める。また、連携する医療機関からの予約検査（CT、MRI、RI、PET/CTほか）の改善にも努める。 既存施設の老朽化、放射線治療に係る待ち時間短縮のため、平成24年秋の稼働を目指し、新たに高精度放射線治療器の導入を計画している。今年度は導入に向けて、新たに放射線治療棟を建設整備する。 医療連携を充実させることで、二次医療病院である当院の診療体制や機能について、地域の医療機関や住民に周知し、効率的な診療を目指す。 CT、MRIなどの画像診断については、引き続き放射線部のスキルアップを図るとともに、検査内容を検証することで、検査件数の増加を図る。 手術については、看護師の増員と業務委託など 	<ul style="list-style-type: none"> 待ち時間調査を4回（診療待ち時間調査3回、検査待ち時間調査1回）実施したが、検査待ち時間については、問題視されるような状況は認められなかった。一部の診療科で30分以上の診療待ち時間が発生しているが、医師事務作業補助者の活用等により少しでも時間短縮できるように努めていく。 【平均待ち時間の状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>24分</td> <td>23分</td> </tr> </tbody> </table> ※予約時間からの遅延時間平均 高精度放射線治療センターの建設については、建設工期が延長となったが、当初の予定どおり平成24年秋の稼働に向けた準備を整えることができた。 紹介率の向上と逆紹介を円滑に進め、外来縮小を図るため、地域医療連携センターを中心に開業医訪問を実施した。訪問活動で収集した情報を基に外来患者向けに「登録医紹介コーナー」を設置した。また、ホームページ上でも登録医の紹介を行い、患者へのPRを行った。 診療放射線技師をCT、MRIなどの画像診断検査に関する学会、研究会、講演会に積極的に参加させ、スキルアップを図った。 医療連携に基づく検査依頼については一部電話予約（CT、MRI）を可能としたほか、当日枠の運用など、検査依頼にかかる待ち時間の縮減を図った。 【CT、MRI検査件数の比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>24,319件</td> <td>25,234件</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>7,640件</td> <td>7,919件</td> </tr> </tbody> </table> 手術については午前手術枠を増加したことによ 	項目\年度	H22	H23	平均待ち時間	24分	23分	区分\年度	H22	H23	CT件数	24,319件	25,234件	MRI件数	7,640件	7,919件			
項目\年度	H22	H23																							
平均待ち時間	24分	23分																							
区分\年度	H22	H23																							
CT件数	24,319件	25,234件																							
MRI件数	7,640件	7,919件																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項				
						により手術室の回転率を向上させる。(午前中の手術の増加、空き時間の活用)	り、内視鏡検査についても内視鏡室の整備によりそれぞれ待ち時間を改善した。 【総手術件数】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">H22</td> <td style="text-align: center;">H23</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,595件</td> <td style="text-align: center;">4,593件</td> </tr> </table>	H22	H23	4,595件	4,593件			
H22	H23													
4,595件	4,593件													
10	(2) 院内環境の快適性向上 病室、待合室、トイレ等を計画的に改修、補修し快適な院内環境を提供するとともに患者のプライバシー確保に配慮した院内環境を整備する。また、治療効果を高めつつ、より快適な入院生活を送れるように栄養管理及び患者の嗜好を配慮した個人対応食を充実させる。	III				(2) 院内環境の快適性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場については、新設整備による駐車台数の大幅な増加、無断駐車防止を目的とした有料化の実施、駐車場案内スタッフの配置により、駐車場進入時の待ち時間の短縮等、利用者の利便性向上を図る。 ・ 無停電電源装置更新工事により情報ネットワークにつながっている電子カルテシステム及び個別医療情報システム等が、停電時においても停止しない環境を整備する。 ・ 患者のプライバシー保護に配慮した院内環境の充実を図る。 ・ 病棟については、入院患者の意見等も参考にしながら快適な療養環境を提供するよう努める。 ・ 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、献立の見直しや食種の見直しを行う。さらには個人対応食の充実、喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを継続的に行い、より細かな食事を提供できるよう食事の充実を図る。 	(2) 院内環境の快適性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場有料化に伴い2名の女性案内スタッフを午前中に配置し、車椅子利用者の介添え、駐車料金精算機の利用案内等、患者サービスの向上に努めた。 ・ 無停電電源装置の更新工事が完了し、電子カルテシステム及び個別医療情報システム等が災害などによる停電時においてもシステムダウンしない環境を整備した。(平成24年度には、無停電電源装置自体が故障した場合の対策を講じる。) ・ 新病棟完成に伴う空きスペースを活用した内視鏡室等整備工事を完了し、患者のプライバシー保護、利便性が向上した。 ・ 外来の女性用トイレに凝音装置を設置した。 ・ 中病棟2Fに情報コーナーを開設し、病院利用者に対する本の貸出しやインターネット利用を開始した。 ・ 院内ギャラリーを開設し、病院利用者に対する癒しの環境整備を図った。 ・ 喫食調査、残菜調査、検食記録などの結果から、献立の見直しを行い、料理の種類を増やした。(18種→30種) ・ 喫食量の低下した患者への個別の聞き取りに努めた。(前年比1.8倍の月平均73件に増加) ・ 食事調整後は個人対応食とし、より細かな食事の提供に努めた。 	III						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
							<ul style="list-style-type: none"> NST介入数は昨年比2.4倍となり、栄養不良の患者に対する栄養管理を強化した。 【喫食量の低下した患者への個別聞き取り、NST介入件数の対前年度比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別聞き取り</td> <td>40件/月</td> <td>73件/月</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>16件/月</td> <td>38件/月</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 院内ボランティアを募り、外来や病棟での案内業務、患者の介助、環境美化（清掃・園芸）活動に活用した。 ボランティア登録者数67名（平成24年3月現在） 	項目\年度	H22	H23	個別聞き取り	40件/月	73件/月	NST介入	16件/月	38件/月			
項目\年度	H22	H23																	
個別聞き取り	40件/月	73件/月																	
NST介入	16件/月	38件/月																	
11	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する相談を、より受け易くできるような相談体制の整備、充実を図る。</p>	III			<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 転院や在宅の調整、緩和ケアの受け入れ等、医療連携室との連携が必要不可欠であることから、医療連携、退院調整及び医療相談部門を統合し、地域医療連携を総合的に担う「地域医療連携センター」を設置する。 医療相談室と医療連携室との連携を強化し、医療情報や退院調整に関わる情報の共有化を図るとともに、MSW等スタッフを充実することで、相談業務の効率化につなげる。 	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携室、医療相談室、退院調整を一体化した「地域医療連携センター」を設立し、相互の連携を強化することにより、紹介患者の受け入れ、入院の早い段階での医療相談、退院後のかかりつけ医への逆紹介、転院調整、在宅医療の支援などを円滑に推進する体制を整えた。（前方支援、後方支援の充実） 社会福祉士（MSW）を2名増員し、円滑な相談業務の推進を図った。 がん患者サロンを開設し、がん患者及びその家族に対する相談を行っている。 <p>【がん患者サロンでの相談件数比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>開設前</th> <th>開設後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんサロン相談件数</td> <td>6件/月</td> <td>17件/月</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	開設前	開設後	がんサロン相談件数	6件/月	17件/月	III						
項目\年度	開設前	開設後																	
がんサロン相談件数	6件/月	17件/月																	
12	<p>(4) 患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。</p>	III			<p>(4) 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます」という病院の基本理念のもと、常に患者の視点に立った医療の提供を心がける。 治療方法の自己決定の尊重、セカンドオピニオンに対応するなど患者自身による治療の選択肢の確保を図る。 	<p>(4) 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本理念や患者さんの権利と責務について、職員手帳に記載し、全職員に対して配布した。 リスボン宣言に基づいた患者さんの権利と責務について、院内各部署への掲示や、ホームページへの掲載により、患者や職員に周知し、患者の自己決定権を尊重した。 	III												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項										
							【カルテ開示請求件数・開示件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>2 5件</td> <td>3 4件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>2 5件</td> <td>3 4件</td> </tr> </tbody> </table>			区分\年度	H 2 2	H 2 3	請求件数	2 5件	3 4件	開示件数	2 5件	3 4件		
区分\年度	H 2 2	H 2 3																		
請求件数	2 5件	3 4件																		
開示件数	2 5件	3 4件																		
13	(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 説明と同意について院内での方針を明文化し、全職員にその意義を周知するとともにセカンドオピニオンについて院内や病院のホームページに掲載し、医療連携室を窓口として一元的に対応する。	III				(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 <ul style="list-style-type: none"> 治療に必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を選択できるようインフォームドコンセントを徹底する。 セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。 	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 <ul style="list-style-type: none"> インフォームドコンセントの意義を職員に周知徹底するため、メディエーションをテーマとした医療安全研修会を実施した。研修会欠席者に対しても、研修会の内容を録画して伝達した。 研修実施日：24年2月2日 セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応した。がんの種類別に医師を選任し、相談に応じた。また、大学病院やがんセンターでのセカンドオピニオンについても患者さんの自己決定権を尊重して受診先を紹介した。 【セカンドオピニオン実施件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>5 件</td> <td>1 1 件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>4 8 件</td> <td>7 4 件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H 2 2	H 2 3	外来受入	5 件	1 1 件	他院紹介	4 8 件	7 4 件	III			
区分\年度	H 2 2	H 2 3																		
外来受入	5 件	1 1 件																		
他院紹介	4 8 件	7 4 件																		
14	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的に開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。	III				(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的に開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。昨年度に引き続き年1回以上開催し、意見、要望の収集に努める。 外来及び入院患者を対象とした「患者満足度調査」を実施する。(年1～2回) 	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民や医療・福祉関係団体の代表者等で構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、意見交換を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24.2.6 議題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・高精度放射線治療システムの導入について</td> </tr> <tr> <td>・精神科病棟の開設(再開)について</td> </tr> <tr> <td>・災害時における医療の確保について</td> </tr> <tr> <td>・各種イベント等の開催について</td> </tr> </tbody> </table> 入院患者、外来患者を対象に患者満足度調査を実施し、病院運営の問題点の把握に努めた。 実施日：1月26日(外来)、27日(入院) 	H24.2.6 議題	・高精度放射線治療システムの導入について	・精神科病棟の開設(再開)について	・災害時における医療の確保について	・各種イベント等の開催について	III							
H24.2.6 議題																				
・高精度放射線治療システムの導入について																				
・精神科病棟の開設(再開)について																				
・災害時における医療の確保について																				
・各種イベント等の開催について																				

1-1-3 診療体制の充実

中期目標	3-1-3 診療体制の充実 医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項				
15	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 患者動向や周辺医療機関の状況などに応じ、地域医療支援病院として医療資源の活用を図れるように医療連携室の充実と診療体制の整備を図る。	III				(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 患者動向や周辺医療機関の状況などに応じ、地域医療支援病院として医療資源の活用を図れるように医療連携に関わる部署を統合整備し、スタッフの充実と専用スペースの確保を行う。	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 前方支援を担う医療連携室と後方支援を担う医療相談室を統合し、地域医療連携センターを新設し、同時にスタッフを増員した。紹介患者に占める医療連携の割合が増加しており、地域に医療連携予約体制が浸透している。 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>47.9%</td> <td>49.8%</td> </tr> </table> ・ 内視鏡センター、中央採血室、点滴治療センターの移転整備により、外来での効率的な診療が可能となった。	平成22年度	平成23年度	47.9%	49.8%	III		
平成22年度	平成23年度													
47.9%	49.8%													
16	(2) 多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇が可能となる人事給与制度を構築する。さらに高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度も構築する。	III				(2) 多様な専門職の積極的な活用 ・ 医師の過密業務の改善を図るため昨年度、医師事務作業補助者を7名採用した。今年度は、その効果を検証しながら、4～5名を増員し、さらなる医師の業務負担軽減を図る。 ・ 独法化に伴い新たに労働基準法の適用を受けることとなった。コンプライアンスを徹底しながら、より良い労働環境を整備するため社会保険労務士を配置する。	(2) 多様な専門職の積極的な活用 ・ 医師事務作業補助者を7名から16名へ増員し、医師の過密業務の軽減を図った。その結果、医師事務作業補助者を配置した部科の医師の約92%が業務の軽減につながったと回答している。 ・ 病院に必要とされる専門性や能力を有した職員を確保するため、社会保険労務士1名と相談業務、病院経営業務の従事経験者各1名を選考採用した。 ・ 定年を迎えた職員については、希望者全員を再雇用することとしているが、退職する職員が管理職で、組織にとって極めて有為な人材の場合には、非常勤の管理職員として再雇用できるよう規程を整備した。	III						

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期目標	3-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じた東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																	
17	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 近隣の医療機関との連携を強化し、地域医療支援病院としての要件である紹介率40%以上、逆紹介率60%以上の確保をはかるとともに、当院機器の共同利用、開放病床の普及を図る。近隣の医療機関がかかりつけ医としての役割を担うこと及び当院が二次医療病院であることを住民や地域医療機関に周知し、紹介率、逆紹介率のさらなる向上に努める。	III				(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 ・ 年4回開催予定の地域医療連携推進協議会を通じ、5大がんの連携パスについて運用の充実を図り、生活習慣病関連の連携パスについて、パス構築の準備、医師会への理解を求めている。 ・ 当院が二次医療病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、紹介率60%、逆紹介率75%以上の確保を目指す。 ・ 高度機器、開放病床の利用についても引き続き利用拡大を促進する。	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 ・ 地域医療連携推進協議会を年4回開催し、地元医師会長をはじめとする関係者に、大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、新たにスタートした狭心症・心筋梗塞についての地域連携パスの普及促進について理解と協力を求めた。また、糖尿病の地域連携パス構築に向け、意見聴取を行った。 ・ 登録医を対象とした訪問活動や、ホームページによる情報発信を行い、医療機関や住民に対し、当院が急性期病院であること、かかりつけ医との連携により、地域医療の向上を目指すことをPRした。紹介率、逆紹介率ともに高水準を維持することができた。 【紹介率・逆紹介率】 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.2%</td> <td>62.7%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>79.2%</td> <td>83.8%</td> </tr> </tbody> </table> ・ 高度機器利用については、電話予約の採用や当日予約枠の新設により、開放病床利用については、登録医が電子カルテを利用できるようシステム改修したことにより、利用しやすい体制を整えた。あわせて登録医を中心とした訪問活動を通じてPRし、利用を促した。 【高度機器利用の年度比較】 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>580件</td> <td>610件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>547件</td> <td>548件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	紹介率	60.2%	62.7%	逆紹介率	79.2%	83.8%	区分\年度	H22	H23	CT	580件	610件	MRI	547件	548件	III	
区分\年度	H22	H23																									
紹介率	60.2%	62.7%																									
逆紹介率	79.2%	83.8%																									
区分\年度	H22	H23																									
CT	580件	610件																									
MRI	547件	548件																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
							【開放型病床利用の年度比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>0件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>8件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>			区分\年度	H22	H23	医科	0件	4件	歯科	8件	10件																	
区分\年度	H22	H23																																	
医科	0件	4件																																	
歯科	8件	10件																																	
18	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 すでに進行中の脳卒中、大腿骨頸部骨折連携パスのさらなる改善、充実を目指す。5大がん、生活習慣などについて連携パスの作成、普及に努める。	III			(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 ・ 5大がん全てについて地域連携クリニカルパスを作成したことにより、60施設以上の地域医療機関が連携登録施設となった。今後は、昨年度に引き続き、がん診療連携拠点病院地域連携強化事業、生活習慣病医療連携推進事業の県主体2事業を活用し、連携ネットワークのさらなる構築、周知、着実な運用を図っていく。 ・ 生活習慣病関連の連携パスの作成のため、現状を把握し、今後の進め方を検討する。	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及等 ・ 大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がんに加え、狭心症・心筋梗塞の地域連携パスの運用を開始した。 【地域連携パス運用実績の年度比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>80件</td> <td>79件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>250件</td> <td>321件</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>0件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>0件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table> ・ 糖尿病の地域連携パスを運用開始するために、地域の医療従事者に対する説明会（医療連携講演会）を開催した。 ・ 内分泌内科医師を中心としたプロジェクトチームの結成により、平成24年度にスタートできる体制を整えた。 【共同指導・連携指導の実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院共同指導実績</td> <td>37件</td> <td>34件</td> <td>-8.1%</td> </tr> <tr> <td>介護支援指導</td> <td>166件</td> <td>197件</td> <td>+18.7%</td> </tr> </tbody> </table>	パス名\年度	H22	H23	大腿骨頸部骨折	80件	79件	脳卒中	250件	321件	5大がん	0件	4件	狭心症・心筋梗塞	0件	10件	項目\年度	H22	H23	増減率	退院共同指導実績	37件	34件	-8.1%	介護支援指導	166件	197件	+18.7%	III	
パス名\年度	H22	H23																																	
大腿骨頸部骨折	80件	79件																																	
脳卒中	250件	321件																																	
5大がん	0件	4件																																	
狭心症・心筋梗塞	0件	10件																																	
項目\年度	H22	H23	増減率																																
退院共同指導実績	37件	34件	-8.1%																																
介護支援指導	166件	197件	+18.7%																																
19	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 退院調整担当師長及び医療相談室を中心に近隣の医療機関、介護・福祉機関との連携に努める。	III			(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 ・ 退院調整看護師の充実を図る。 ・ 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを積極的に挙げる。	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 ・ 平成23年4月1日から退院調整看護師を1名増員した。 ・ 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを積極的に開催した。 開催件数 231件	III																												

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期目標	<p>3-1-5 重点的に取り組む医療</p> <p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県立多治見病院として重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「急性期医療」、「母子周産期医療」、「がん診療拠点」など高度で先進的な医療を提供するとともに、「精神科医療」、「感染症医療」など政策医療を提供すること。</p>
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																												
20	<p>(1) 救命救急医療</p> <p>救命救急センターと各診療科の緊密な連携による24時間を通しての受け入れ体制をさらに充実させる。</p> <p>また、ドクターカーなどを活用して先進的な地域救急システムの構築に取り組む。</p>	IV				<p>(1) 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターと各診療科の緊密な連携により24時間を通しての救急受け入れ体制の維持、及びさらなる充実に努める。 ドクターカーのより効率的な運用を目指すとともにドクターヘリとのより良い協力体制の構築を模索する。 	<p>(1) 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間を通しての受け入れ体制をとり、救命救急センターとしての役割を果たした。 <p>【救命救急医療受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>総数</th> <th>病床率</th> <th>総数</th> <th>病床率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,650</td> <td>56.5%</td> <td>1,491</td> <td>50.9%</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>788</td> <td>72.0%</td> <td>816</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>2,421</td> <td>73.7%</td> <td>2,173</td> <td>66.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,859</td> <td>66.6%</td> <td>4,480</td> <td>61.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車受入台数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,581台</td> <td>4,620台</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.5台</td> <td>12.6台</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ドクターカーとドクターヘリの運用実績を分析・検証し、患者の発生地域ごとに有利な移送手段の検討を行った。 平成24年1月以降は、緊急走行できる医師が減員したため、運用時間の制限をしながら稼働を維持している。 <p>【ドクターカー稼働実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出動件数</td> <td>477件</td> <td>421件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22		H23		項目	総数	病床率	総数	病床率	ICU	1,650	56.5%	1,491	50.9%	CCU	788	72.0%	816	74.3%	HCU	2,421	73.7%	2,173	66.0%	合計	4,859	66.6%	4,480	61.2%	区分\年度	H22	H23	受入台数	4,581台	4,620台	一日平均台数	12.5台	12.6台	項目\年度	H22	H23	出動件数	477件	421件	III	
年度	H22		H23																																																			
項目	総数	病床率	総数	病床率																																																		
ICU	1,650	56.5%	1,491	50.9%																																																		
CCU	788	72.0%	816	74.3%																																																		
HCU	2,421	73.7%	2,173	66.0%																																																		
合計	4,859	66.6%	4,480	61.2%																																																		
区分\年度	H22	H23																																																				
受入台数	4,581台	4,620台																																																				
一日平均台数	12.5台	12.6台																																																				
項目\年度	H22	H23																																																				
出動件数	477件	421件																																																				
21	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <p>循環器内科、心臓血管外科および救命救急センターが連携し、専門的医療を提供する体制の充実を図る。</p>	III				<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 128列CT等の先端機器導入とスタッフの充実により、近隣の医療機関との連携を強化し、引き続き治療症例数の増加を目指す。 	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓血管外科医の減員により手術症例数が減少したが、大学病院、近隣病院と連携して診療を維持している。 	II																																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																							
	さらに病車連携など地域医療機関との関係をいっそう深める。					<ul style="list-style-type: none"> 狭心症、心筋梗塞の地域連携パスを作成し、運用を目指す。 	【心臓血管手術症例数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>34</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>34</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>106</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> 【手術・検査件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>944</td> <td>849</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>379</td> <td>374</td> </tr> </tbody> </table> ※PCI：冠動脈形成術 【循環器系】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>25</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>43</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> ※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器 <ul style="list-style-type: none"> 狭心症・心筋梗塞の地域連携パスの運用を開始した。 地域連携パス登録医数 41名 平成23年度パス運用実績 9例	区分\年度	H22	H23	虚血性心疾患	34	20	弁膜症	34	29	大動脈	21	14	その他	17	21	合計	106	84	区分\年	H22	H23	心カテ	944	849	PCI※	379	374	区分\年	H22	H23	アブレーション	25	29	PMI※	43	62	ICD※	11	11			
区分\年度	H22	H23																																															
虚血性心疾患	34	20																																															
弁膜症	34	29																																															
大動脈	21	14																																															
その他	17	21																																															
合計	106	84																																															
区分\年	H22	H23																																															
心カテ	944	849																																															
PCI※	379	374																																															
区分\年	H22	H23																																															
アブレーション	25	29																																															
PMI※	43	62																																															
ICD※	11	11																																															
22	(3) 母子周産期医療 地域周産期母子医療センターとして二次診療の24時間を通しての受け入れ体制を維持するため、スタッフの増員、労働環境の向上に努める。	III				(3) 母子周産期医療 <ul style="list-style-type: none"> 地域周産期母子医療センターとして24時間受け入れ出来る体制を整えている。現在の診療体制を維持、充実させるために医師、助産師の確保、増員に努める。 	(3) 母子周産期医療 <ul style="list-style-type: none"> 地域周産期母子医療センターとして24時間受け入れ出来る現在の診療体制を維持、充実させるために助産師を3名増員した。 NICUについては、限られた人員の中、ほぼフル稼働の状態を維持した。 【周産期母子医療センターの主な実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>435件</td> <td>462件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">褥間 入院</td> <td>NICU</td> <td>216名</td> <td>245名</td> </tr> <tr> <td>GCU</td> <td>362名</td> <td>418名</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	分娩件数	435件	462件	褥間 入院	NICU	216名	245名	GCU	362名	418名	III																												
区分\年度	H22	H23																																															
分娩件数	435件	462件																																															
褥間 入院	NICU	216名	245名																																														
	GCU	362名	418名																																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							者数	産科				
						者数	産科	632名	663名			
						母胎搬送件数		56件	61件			
						新生児搬送件数		54件	72件			
23	(4) がん診療拠点 地域がん診療拠点病院として地域の医療従事者を含めた研修に積極的に取り組む。がん連携パスなどによって地域連携を推進し、がん診療の均てん化を図る。	III				(4) がん診療拠点 ・ がん地域連携クリニカルパスの運用拡大を図る。 ・ 最先端の放射線機器導入に向けて治療棟を建設整備し、スタッフの研修を進める。 ・ 地域の医師を対象とした緩和ケア研修を開催する。 ・ 昨年度に引き続き院内がんセンターボードの質的・量的充実を目指す。(年3回以上開催する予定)	(4) がん診療拠点 ・ がん地域連携クリニカルパスの運用促進のための啓蒙活動を行った。 平成23年度パス運用実績3例 (前年度0例) ・ がん治療成績の向上と患者負担の軽減のために、高精度放射線治療装置の導入を決定し、治療棟建築に着手した。 ・ 地域医療従事者を対象とした緩和ケア勉強会を月1回開催した。 ・ 院内・院外職員を対象にがんセンターボードを6回開催し、がん患者の症状、状態および治療方針等にかかる意見交換を行った。 ・ がん相談に関しては、電話相談30件、面接相談193件の相談を受け付けた。 【がん患者(入院)等の状況】	III				
						項目\年度	H22	H23				
						患者数	1,338人	1,274人				
						手術件数	1,052件	1,025件				
						化学療法件数	884件	779件				
						放射線施行回数	3,804件	3,177件				
24	(5) 精神科医療・感染症医療 急性期総合病院に併設した特徴を生かし、救急患者や他の医療機関で対応の困難な患者の治療を行える体制の充実を図る。	III				(5) 精神科医療・感染症医療 ・ 感染症病床を確保し、引き続き対象患者の受け入れ体制を維持する。 ・ 常勤精神科医師の増員を確実なものとし、病棟開設を目指す。 ・ 病棟マニュアル等、開設に向けての整備を行う。	(5) 精神科医療・感染症医療 ・ 感染症病床(6床)を確保し、引き続き対象患者の受け入れ体制を維持した。 ・ 精神科病棟の開設に向けて準備委員会を立ち上げ、マニュアル等の整備をおこなった。また、常勤精神科医師1名を増員し、加えて平成24年度からは新規医師2名が確保でき、平成24年5月からの開設が可能となった。	IV				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
25	(6) 緩和ケア 緩和ケア認定看護師、がん疼痛認定看護師を中心に、地域の医療機関と連携した緩和ケアを提供していく。	IV				(6) 緩和ケア ・ 開設から1年が経過し、看護体制が軌道に乗ったことから、今年度はさらに緩和ケア病棟の運用を推進し、受け入れ入院患者の増加を目指す。 ・ 地域との連携を引き続き構築する。	(6) 緩和ケア ・ がん看護専門看護師を2名に増員した。 ・ 入院患者数が前年度よりも増加した。 ・ 地域医療施設を対象とした講演会や、勉強会及び学会発表を積極的に行った。 【緩和ケアの患者動向】	III										
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,332人</td> <td>3,777人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>72人</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	入院患者数	2,332人	3,777人	外来患者数	72人	101人		
区分\年度	H22	H23																
入院患者数	2,332人	3,777人																
外来患者数	72人	101人																

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-2 調査研究事業
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期 目標	3-2 調査研究事業 3-2-1 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
26	(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるように治験管理事務、治験コーディネーター業務を推進するための人材を育成し体制の強化、受託件数の増加を図る。 平成20年度実績 1件 平成21年度見込 1件 平成26年度に向け院内の体制を強化し、受託件数の増加に努める。	III				(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるように治験管理事務、治験コーディネーター業務を推進するための人材を育成し体制の強化、受託件数の増加を図る。 ・ 平成24年度に予定している治験管理部門立ち上げのため、担当者1名を配置し、組織作りの準備を行う。また、治験募集と担当診療科調整の支援を行い、受託件数の増加を図る。 平成22年度実績 1件 平成23年度目標 1~2件	(1) 治験管理部門立ち上げのため、担当者1名を配置し、組織作りを行った。 また、治験募集と担当診療科調整の支援を行い、受託件数の増加を図るため、各CRO（医薬品開発業務受託機関）から照会のあった案件について、該当医師にヒアリングを行った。（平成23年度実績：約30件） 【治験件数】	III													
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>12件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	治験実施件数	1件	1件	治験症例件数	12件	0件	受託研究件数	1件	1件		
区分\年度	H22	H23																			
治験実施件数	1件	1件																			
治験症例件数	12件	0件																			
受託研究件数	1件	1件																			

1-2-2 診療等の情報の活用

中期目標	3-2-2 診療等の情報の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県立多治見病院で提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項											
27	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。</p> <p>また、その情報を地域の医療機関へ提供することにより、地域医療の活性化を図るための仕組みづくりを検討する。</p>	III				<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター、各診療科の入院・外来患者数、平均在院日数等の基礎データを管理会議等で毎月報告し、情報の共有を図る。 昨年度から導入しているDPC分析システムを用いて、当院の医療資源の投入、診療行為プロセスの現状を把握するとともに、他のDPC対象病院とのベンチマーク分析から、治療レベル向上のためのデータを抽出し、各診療科へ情報提供を行うことで、医療の質の向上につなげる。 <p>・ 検査及び治療実績、成績を年報やホームページに公表する。またホームページについては、継続的に新鮮な情報を提供するために、データの更新を逐次行っていく。</p>	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院、外来患者数、平均在院日数等基礎データについて、毎月経営会議、管理会議において報告し、情報の共有を図った。 DPC委員会（隔月開催、年6回）を中心に、DPCデータの分析を行った。症例別、疾患別の検討、ベンチマーク分析を通じて、当院の問題点等について分析し、診療科等へ提案を行った。 <p>【提案を行った主な疾患】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="background-color: yellow;">診療科</th> <th style="background-color: yellow;">疾患名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消化器内科</td> <td>胆管結石・胃潰瘍</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>弁膜症・狭心症</td> </tr> <tr> <td>呼吸器内科</td> <td>肺炎・肺癌</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>ヘルニア・胆嚢疾患</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 日本病院会の内容を参考に、当院の臨床指標（クリニカルインディケータ）を作成した。病院ホームページにおいて公開し、地域へ情報発信を行った。</p> <p>【クリニカルインディケータの項目】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>患者満足度、死亡退院患者率、転倒・転落発生率、転倒・転落損傷率、退院後6週以内再入院率など計10項目</td> </tr> </table> <p>・ 年報では年間診療実績等の資料に新たにクリニカルインディケータやがん登録の状況等も合わせて掲載した。</p>	診療科	疾患名	消化器内科	胆管結石・胃潰瘍	循環器内科	弁膜症・狭心症	呼吸器内科	肺炎・肺癌	外科	ヘルニア・胆嚢疾患	患者満足度、死亡退院患者率、転倒・転落発生率、転倒・転落損傷率、退院後6週以内再入院率など計10項目	III		
診療科	疾患名																				
消化器内科	胆管結石・胃潰瘍																				
循環器内科	弁膜症・狭心症																				
呼吸器内科	肺炎・肺癌																				
外科	ヘルニア・胆嚢疾患																				
患者満足度、死亡退院患者率、転倒・転落発生率、転倒・転落損傷率、退院後6週以内再入院率など計10項目																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度リース契約を締結した診療録データベースサーバーについて、データ移行作業を行う。 また、医事会計等その他のデータベースサーバーについてのリース契約、データ移行を行い医療情報システムのデータ保存領域を確保する。 ・ 昨年度に引き続き、地域医療連携推進協議会を年4回開催し、医療連携関連のデータの活用により、開業医を含めた今後の医療連携の進め方を検討し、併せてデータの提供方法についても検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療総合情報システムのサーバーについては、4月に診療録データ部分を、10月にはその他連携するシステム部分を更新し、必要なデータ領域を確保することができた。また、サーバーはシステムダウンが起りにくい構成とした。 ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政機関等の代表者を集め、地域医療連携推進協議会を4回開催した。紹介・逆紹介、高度医療機器利用、開放型病床利用等の各種データを提供し、地域の医療機関相互の役割分担、医療資源の有効活用について検討を重ねた。 			
28	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理体制の充実を図り、院内診療データを集積整理する。多職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。また、一部を他の医療機関へ情報提供する。</p>	III				<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集積したエビデンスに基づき、主な疾患の治療成績を整理、検討し、各症例についてはカンファレンスなどで評価し、成績向上に努める。 ・ 学会等が主導する疾患別登録事業への情報提供を行っていく。 	<p>(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内科学会教育病院としての診療実績を内科学会に報告した。 ・ がん診療連携拠点病院としてのがん登録事業へ参加し、国立がん研究センター等へ情報提供を行った。 ・ 日本病院会の内容を参考に、当院の臨床指標(クリニカルインディケータ)を作成した。病院ホームページにおいて公開し、地域へ情報発信を行った。 ・ 各診療科のホームページにて各種治療実績を公表した。 	III		

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標	3-2-3 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
29	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に関する情報の提供や発信を行う。 ○市民公開講座 平成20年度実績 1件 脳卒中について(参加者137名) 平成21年度見込 1件 骨粗しょう症について(参加者132名) 今後も年一回以上、より市民の関心度が高いテーマを厳選し、開催する。	III				(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に対する情報の提供や発信を行う。 ○市民公開講座 平成23年度も一回以上、より市民の関心度が高いテーマを厳選し、開催する。 ・東濃支部ソーシャルワーカー研修会(情報交換会)を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用していくよう努めていく。また、今年度も難病福祉相談会に福祉相談員として参加する。	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・一般市民を対象とした公開講座を8月と9月に開催した。 ○市民公開講座 平成23年9月23日、多治見市文化会館にて「救急医療」をテーマに市民公開講座を開催し、89人の参加者があった。 ○緩和ケア市民公開講座 平成23年8月6日、多治見市文化会館にて「いのちのバトンタッチ」をテーマに、緩和ケア市民公開講座を開催し、124人の参加者があった。 ・11月13日に開催した病院秋祭りにおいて無料健康相談を行った。 ・東濃地域の医療相談員と協力し、東濃支部ソーシャルワーカー研修会(情報交換会)を2ヶ月に1度開催した。10月には当院を会場に地域の医療相談員を集めて開催した。この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用している。	III		
30	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 病院のホームページで最新の情報を発信するとともに関係機関や医療情報サイト等に情報を提供する。さらに病院広報誌では、掲載内容を厳選し、幅広い年齢層に対し最新の情報を提供する。	III				(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 ・病院広報誌「けんびょういん」、ホームページ等の広報媒体を活用し、最新の情報を発信するとともに関係機関や医療情報サイトに情報を提供する。	(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 ・病院広報誌「けんびょういん」を4月及び1月に発行し最新の情報を発信した。 ・11月13日に開催された病院秋祭りにおいて放射線治療コーナーを設置するなど地域住民に対し、医療情報の提供を行った。 ・新聞、地域情報紙の医療特集記事に寄稿した。	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> ホームページについては、常に新鮮な情報を提供するために、広報委員会のメンバーを中心に逐次、内容の更新を行っていく。 ホームページの閲覧環境向上のため、アクセシビリティのチェックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに次のコンテンツを新設した。 <ul style="list-style-type: none"> 病院のイメージを広く伝えるための「病院Webギャラリー」 高精度放射線治療センターの概要 地域医療連携センターの概要 入院中の食事について、ホームページ上への掲載や、秋祭りイベント（試食会など）での紹介など積極的な広報活動を行った。 ホームページの閲覧環境向上のため、閲覧者の視点で、ホームページ上のコンテンツを再確認し、内容、デザイン等の見直しを行った。 			

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-3 教育研修事業
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期目標	3-3 教育研修事業 3-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。 名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
31	(1) 質の高い医療従事者の養成 質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床プログラムを開発し、その推進体制を強化する。	III				(1) 質の高い医療従事者の養成 <ul style="list-style-type: none"> 最新の医療技術や知識習得のため学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援を行う。院内において外部からの講師を招聘して講演会を開催し、専門領域から一般領域まで幅広く知識を習得し、レベルアップを図る。 初期臨床研修において、これまで研修医に対する評価は行ってきたが、新たに指導者側の評価を 	(1) 質の高い医療従事者の養成 <ul style="list-style-type: none"> 最新の医療技術や知識習得のため学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。特に研修医は学会等で積極的に発表し、2名が優秀演題賞を受賞した。 今年度から初期臨床研修において、研修医が指導者や研修プログラムの評価を行い、より良い研修制度の確立を推進している。 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
						研修医が行うこととし、より良い研修制度の確立を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> 研修医に対し、各診療科部長による講義を行い、臨床研修の充実を図る。 研修医を対象とした症例検討会を月1回開催する。研修医自ら症例提示を発表形式で行い、個々のレベルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修医の希望するテーマに沿い、院内外の医師を講師として招へいした早朝勉強会を開催している。3月には外部講師を招へいし、研修医と若手医師を対象とした講演会を実施した。 研修医を対象とした内科症例検討会を月1回開催し、研修医による症例提示を発表形式で行いレベルアップを図っている。 <p>【初期臨床研修医数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>14人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	医師	14人	19人	歯科医師	2人	2人			
区分\年度	H22	H23																	
医師	14人	19人																	
歯科医師	2人	2人																	
32	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医（レジデント）に対しては、多治見病院独自の研修と大学病院と連携した研修等、魅力あるプログラムを開発し運用推進していく。	III			(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 <ul style="list-style-type: none"> 後期研修1年目は複数診療科での研修が可能で選択の自由度が高い。各診療科においては、専門領域の疾患の診断と治療はもとより研究会、学会参加や学会発表の支援を行う。 	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 <ul style="list-style-type: none"> 後期研修医1名が、内科ローテーション研修を行い、消化器内科で17症例、腎臓内科で25症例、呼吸器内科で20症例、神経内科で36症例を担当した。 研究会や学会発表、学会参加に対しては旅費を支給することで、積極的な参加を促した。 <p>【後期研修医（レジデント）数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>11人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	医師	11人	13人	歯科医師	1人	1人	III			
区分\年度	H22	H23																	
医師	11人	13人																	
歯科医師	1人	1人																	

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期目標	3-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施 県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
33	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ 看護学生に対しては実習の積極的な受け入れ、当院の人員確保に努める。</p> <p>○看護学生に対する教育 平成20年度実績 大学77名、看護学校等136名 平成21年度見込 大学73名、看護学校等176名 今後も積極的に看護師に対する実習を定期的に実施する。</p>	III				<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生の受け入れについては、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から積極的に受入を行う。(各大学から年間2～3名程度の受け入れを予定している。) 看護学生に対しても多くの専門学校や大学から実習生を受け入れ、当院の人員確保に努める。 <table border="1"> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1～3年生を随時受け入れ</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>1年生 2名 3年生 母性(30名程度)、 小児(10名程度)、 成熟期(10名程度) 4年生 卒研(2～3名程度)</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>1年生(2名程度)、 2年生(35名程度)</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>NICUにて30名程度受け入れ</td> </tr> </table>	多治見看護専門学校	1～3年生を随時受け入れ	岐阜県立看護大学	1年生 2名 3年生 母性(30名程度)、 小児(10名程度)、 成熟期(10名程度) 4年生 卒研(2～3名程度)	中京学院大学	1年生(2名程度)、 2年生(35名程度)	東濃看護専門学校	NICUにて30名程度受け入れ	III																																					
多治見看護専門学校	1～3年生を随時受け入れ																																																			
岐阜県立看護大学	1年生 2名 3年生 母性(30名程度)、 小児(10名程度)、 成熟期(10名程度) 4年生 卒研(2～3名程度)																																																			
中京学院大学	1年生(2名程度)、 2年生(35名程度)																																																			
東濃看護専門学校	NICUにて30名程度受け入れ																																																			
							<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <p>【医学生の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋市立大学</td> <td>4名(麻酔科)</td> </tr> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>3名(循環器内科・外科・麻酔科・救急科1名、 産婦人科2名)</td> </tr> <tr> <td>岐阜大学</td> <td>3名(消化器内・麻酔科1名、麻酔科1名、 産婦人科1名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【看護学生受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1～3年生を随時(延べ318名)</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>小児9名、母性25名、成熟期5名、 基礎2名、卒業研究2名 計43名</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>基礎看護学I 22名、基礎看護学II 12名、 成人看護学I 19名 計53名</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>3年生37名</td> </tr> <tr> <td>名古屋学芸大学</td> <td>看護学実習1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他(コメディカル)の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ部署</th> <th>受入れ元・受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>愛知学院大学3名、名城大学、金城学院大学各1名 計5名</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>岐阜医療科学大学14名、藤田保健衛生大学2名、金沢大学、鈴鹿医療科学大学各1名 計18名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査科</td> <td>岐阜医療科学大学10名、倉敷芸術科学大学、信州大学、新潟大学、金沢大学各1名 計14名</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション科</td> <td>名古屋大学助産師施設 計20名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【学生の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>424人</td> <td>452人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>21人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>456人</td> <td>519人</td> </tr> </tbody> </table>	受け入れ元	受け入れ状況	名古屋市立大学	4名(麻酔科)	名古屋大学	3名(循環器内科・外科・麻酔科・救急科1名、 産婦人科2名)	岐阜大学	3名(消化器内・麻酔科1名、麻酔科1名、 産婦人科1名)	受け入れ元	受け入れ状況	多治見看護専門学校	1～3年生を随時(延べ318名)	県立看護大学	小児9名、母性25名、成熟期5名、 基礎2名、卒業研究2名 計43名	中京学院大学	基礎看護学I 22名、基礎看護学II 12名、 成人看護学I 19名 計53名	東濃看護専門学校	3年生37名	名古屋学芸大学	看護学実習1名	受け入れ部署	受入れ元・受け入れ状況	薬剤部	愛知学院大学3名、名城大学、金城学院大学各1名 計5名	中央放射線部	岐阜医療科学大学14名、藤田保健衛生大学2名、金沢大学、鈴鹿医療科学大学各1名 計18名	臨床検査科	岐阜医療科学大学10名、倉敷芸術科学大学、信州大学、新潟大学、金沢大学各1名 計14名	リハビリテーション科	名古屋大学助産師施設 計20名	区分\年度	H22	H23	医学生	11人	10人	看護学生	424人	452人	コメディカル	21人	57人	合計	456人	519人
受け入れ元	受け入れ状況																																																			
名古屋市立大学	4名(麻酔科)																																																			
名古屋大学	3名(循環器内科・外科・麻酔科・救急科1名、 産婦人科2名)																																																			
岐阜大学	3名(消化器内・麻酔科1名、麻酔科1名、 産婦人科1名)																																																			
受け入れ元	受け入れ状況																																																			
多治見看護専門学校	1～3年生を随時(延べ318名)																																																			
県立看護大学	小児9名、母性25名、成熟期5名、 基礎2名、卒業研究2名 計43名																																																			
中京学院大学	基礎看護学I 22名、基礎看護学II 12名、 成人看護学I 19名 計53名																																																			
東濃看護専門学校	3年生37名																																																			
名古屋学芸大学	看護学実習1名																																																			
受け入れ部署	受入れ元・受け入れ状況																																																			
薬剤部	愛知学院大学3名、名城大学、金城学院大学各1名 計5名																																																			
中央放射線部	岐阜医療科学大学14名、藤田保健衛生大学2名、金沢大学、鈴鹿医療科学大学各1名 計18名																																																			
臨床検査科	岐阜医療科学大学10名、倉敷芸術科学大学、信州大学、新潟大学、金沢大学各1名 計14名																																																			
リハビリテーション科	名古屋大学助産師施設 計20名																																																			
区分\年度	H22	H23																																																		
医学生	11人	10人																																																		
看護学生	424人	452人																																																		
コメディカル	21人	57人																																																		
合計	456人	519人																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
34	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士に対しては、定期的な講習及び病院実習を実施し医療技術の向上を図る。</p> <p>○救急救命士に対する教育</p> <p>平成20年度実績 生涯教育実習74名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習1名</p> <p>平成21年度見込 生涯教育実習70名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習2名</p> <p>今後も積極的に救急救命士に対する実習を定期的に実施する。</p>	III				<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>・ 救急救命士に対しては、生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的に行い、医療技術の向上を図る。</p> <p>○救急救命士に対する教育</p> <p>平成22年度実績</p> <p>生涯教育実習76名、就業前実習5名、 気管挿管実習6名、薬剤投与実習6名</p> <p>平成23年度見込</p> <p>生涯教育実習75～80名、就業前実習5～10名、 気管挿管実習5～10名、薬剤投与実習5～10名</p>	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>【研修実績の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>76名</td> <td>66名</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>5名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>6名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急救命士の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90人</td> <td>79人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	生涯教育実習	76名	66名	就業前実習	5名	3名	気管挿管実習	6名	5名	薬剤投与実習	3名	5名	H22	H23	90人	79人	III		
区分\年度	H22	H23																											
生涯教育実習	76名	66名																											
就業前実習	5名	3名																											
気管挿管実習	6名	5名																											
薬剤投与実習	3名	5名																											
H22	H23																												
90人	79人																												

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-4 地域支援事業

1-4-1 地域医療への支援

中期 目標	<p>3-4 地域支援事業</p> <p>3-4-1 地域医療への支援</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
35	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <p>平成20年9月より開放型病床の登録医を募り、5床の開放型病床を稼働。医科歯科合わせて207名の登録医により、1年間に21名の共同診療を実施した。二次医療圏における連携強化を図り登録医師(足)進、開放型病床・高度医療機器の共同利用を推進する。</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科開業医との「お産ネットワーク」を結び、</p>	III				<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <p>・ 地域医療連携推進協議会を年4回開催し、紹介率については60%、逆紹介率については75%以上の達成を目指す。また、開放型病床を有効に活用し、登録医との共同診療を行う。</p>	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <p>・ 四半期に1度のペースで開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用を呼びかけた。</p> <p>【高度医療機器の共同利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>580件</td> <td>610件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>550件</td> <td>548件</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	H22	H23	CT	580件	610件	MR I	550件	548件	III		
機器名	H22	H23																	
CT	580件	610件																	
MR I	550件	548件																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項							
	密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を担っている。地域医療機関と共に安心して出産ができる体制づくりを推進する。					<ul style="list-style-type: none"> 定期的に医療連携講演会及び症例検討会を開催し、地域医療の質の向上に努めていく。 東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を引き続き推進する。 	<table border="1"> <tr> <td>R I</td> <td>156件</td> <td>169件</td> </tr> <tr> <td>P E T</td> <td>90件</td> <td>92件</td> </tr> </table>	R I	156件	169件	P E T	90件	92件				
R I	156件	169件															
P E T	90件	92件															
36	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 へき地医療は、国民健康保険上矢作病院へ、医師を一人派遣しており、研修医も、月単位に一人ずつ、派遣している。今後も継続し、支援を推進する。	IV				(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、国民健康保険上矢作病院へ医師と研修医を、総合病院中津川市民病院へ医師を派遣するとともに、要望のある医療機関に対する診療支援を行う。 	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院へ週1回、医師を派遣し支援を行った。 【他の医療機関への人的支援の状況】(延べ日数) <table border="1"> <tr> <td>派遣先 医療機関名 (診療科)</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>国保上矢作病院</td> <td>94日</td> <td>100日</td> </tr> </table>	派遣先 医療機関名 (診療科)	H22	H23	国保上矢作病院	94日	100日	III			
派遣先 医療機関名 (診療科)	H22	H23															
国保上矢作病院	94日	100日															

1-4-2 社会的な要請への協力

中期目標	3-4-2 社会的な要請への協力 岐阜県立多治見病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
37	医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	III				医師等による上矢作病院等の地域の医療機関への支援の継続、がん診療連携拠点病院として、地域	<ul style="list-style-type: none"> 週1回、年間を通じて医師1名を国民健康保険上矢作病院に派遣し、地域医療への支援を行っ 	III			

項	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証															
						医療機関の医師を対象とした緩和ケア医師研修会をH21年度に引き続き開催、地域医療従事者を対象とした定期的な症例検討会等を積極的に開催、地域の要請に応じた講師の派遣等に対応できるための体制づくり等を進め、地域の医療水準の向上に努める。医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	た。 ・ 地域の医師を対象とした緩和ケア研修会を開催した。 ・ 院内外の医療従事者を対象に、年2回の緩和ケア講演会、毎月1回の緩和ケア定例勉強会を開催した。 ・ 多治見看護専門学校に医師を非常勤講師として派遣した。 ・ 中京学院大学等に認定看護師を講師として派遣した。																	
						【講師派遣の状況】																		
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>101人</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>48人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>36人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>185人</td> <td>221人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	医師	101人	125人	看護師	48人	47人	コメディカル	36人	49人	合計	185人	221人			
区分\年度	H22	H23																						
医師	101人	125人																						
看護師	48人	47人																						
コメディカル	36人	49人																						
合計	185人	221人																						

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-5 災害等発生時における医療救護
 1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期目標	3-5 災害等発生時における医療救護 3-5-1 医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
38	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 そのため、日頃から実践的な災害医療訓練を定期的に行い医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持し災害発生時には患者の受け入れなど求めら	III				(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 ・ 岐阜県災害拠点病院である中津川市民病院と連携して、大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ体制をとる。	(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。 ・ 平成23年10月26日付で災害拠点病院（地域災害医療センター）の指定を受けた。 ・ 台風15号接近により病院周辺道路が通行止めになった際には、帰宅困難者のために病院施設を	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	れる機能を発揮する。						開放した。 ・ 大雨による水害を契機として課題を整理し、関係機関へ要望を行った。 ・ 2月13日に多治見市で開催された生物兵器を使ったテロ災害に備える訓練に、消防本部や多治見警察署、保健所とともに参加した。			

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期 目標	3-5-2 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
39	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害時に厚生労働省医政局からの要請に常時対応出来る体制をとり、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣する。	IV				(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 ・ 厚生労働省医政局の要請により常時災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣できる体制をとる。	(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 ・ 厚生労働省医政局の要請により常時災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣できる体制をとった。 ・ 東日本大震災の被災地を支援するため、平成22年度末の災害派遣医療チーム（DMAT）等の活動に引き続き、医師、看護師、薬剤師、事務職員で構成された医療救護班（計3班）を宮城県へ、精神科医、看護師で構成された心のケアチームを福島県へ派遣し、避難所での診療や精神面のケアを行った。	III		
40	(2) DMATの質と向上 大規模災害に対応できるよう災害派遣医療チーム（DMAT）は、国及び中部地区で定期的開催される講習会に参加し、質の向上と維持を図る。	III				(2) DMATの質の向上と維持 ・ 厚生労働省、中部地区、岐阜県の開催する訓練に参加する。また、核、化学、生物テロ対策、広域搬送訓練も行う。	(2) 災害派遣医療チーム（DMAT）の質の向上と維持 【主なDMAT活動訓練実績】	III		
							実施期間	訓練内容		
							6月16日	DMAT研修		
							9月29日	東海環状自動車道消防連絡協議会 集団災害合同訓練		
							11月12日	中部ブロック技能継承研修		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						2月21日	DMAT連絡協議会			
						3月16日	自衛隊航空機を使用した広域医療搬送実地研修			

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-1 効率的な業務運営体制の確立
 2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期 目標	<p>4 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>4-1 効率的な業務運営体制の確立</p> <p>4-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立</p> <p>医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。</p> <p>ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップが発揮できる効率的・効果的な組織体制を構築する。	III				(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・ 理事長のリーダーシップのもと新たに設置された「経営企画課」、「地域医療連携センター」を機能させ、医療環境の変化や住民の医療需要への的確な対応を目指す。	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・ 医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応できるよう「経営企画課」を設置し、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。 ・ 「地域医療連携センター」を組織再編により立ち上げ、地域医療連携の強化に本格的に着手できる体制を構築した。 ・ 理事長をはじめとした幹部職員による院内ラウンドを行い、医療現場における問題点や院内環境の現状把握、改善に努めた。	III		
42	(2) 各種業務のIT化の推進 病院独自のITインフラを再整備することで、情報到達に確実性を持たせ、ペーパーレス化、迅速化を図る。	III				(2) 各種業務のIT化の推進 ・ 組織体制強化に伴う職員の増加に対応するため、医療系・事務系端末の配置を見直し、業務の効率化を図る。	(2) 各種業務のIT化の推進 ・ 職員の増加等に対応するために必要なネットワーク工事を行った。 ・ 薬剤部に持参薬管理システムを導入した。 ・ 化学療法室に抗癌剤レジメンシステムを平成24年度に導入できる準備を整えた。	III		
43	(3) アウトソーシング導入による合理化	III				(3) アウトソーシング導入による合理化	(3) アウトソーシング導入による合理化	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。					<ul style="list-style-type: none"> 外来駐車場の有料化に伴い今年度から駐車場の料金収入が発生する。その料金収入の範囲内で、駐車場の管理運営業務全般を外部委託し、運営経費を削減する。 医事業務委託契約に、受託業者からの提案に基づく成果に対応した成功報酬制度を採用する。患者サービス、診療報酬請求、DPCデータの活用等の業務改善提案について、その実現性、有効性を整理分析し、有効活用することで、経営の効率化、人材の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の管理運営業務全般を外部委託したことにより、22年度まで委託していた駐車場整理・誘導業務委託経費、正面玄関前警備業務経費を削減した。 医事業務委託については、プロポーザル方式による複数年契約の採用や成果報酬制度の導入等、仕様内容を大幅に見直し、費用の節減、事務の合理化を図った。また、レセプトチェックシステム、DPCコーディング検証の導入により、効率的な事務の推進、収益向上も実現した。 			
44	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <p>事務局職員の病院運営企画にかかわる能力向上の支援を行ったり、病院経営に寄与すると認められる職員が定年を迎えた場合の再雇用制度の積極的な活用を図り、経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立する。</p>	III				<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院の政策企画部門として、「経営企画課」を設置し、病院の進むべき方向性や経営戦略、経営基盤の強化に向けた検討を進める。 医療連携、退院調整及び医療相談部門を統合し、地域医療連携を総合的に担う「地域医療連携センター」を設置し、二次医療圏における効率的な前方支援及び後方支援の実現を目指す。 地域医療連携センターを中心に各診療科、中央放射線部、臨床検査科等が連携を密にし、高度医療機器の利用予約のあり方等について改善を図り、利用を促進させる。 事務部門の経営分析能力向上のため、職員を育成支援する。 診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士等の資格取得を支援する。 	<p>(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院の経営企画機能を強化するため、事務局に「経営企画課」を設置し、経営分析や予測、各種広報等、経営基盤の強化を図った。 「地域医療連携センター」を立ち上げ、地域の開業医への積極的な訪問活動や、高度医療機器の利用促進のため、連携予約枠の追加などを進めた。 DPC環境下における病院収益向上を図るため、病院職員が、診療報酬請求やコスト管理等にかかる専門研修や講演会等へ積極的に参加した。 医事課担当職員1名に対し、診療情報管理士の資格取得に向けた支援を行い、資格を取得した。 	III		
45	<p>(5) 時差出勤制度の導入</p> <p>女性医師を対象に時差出勤制度を導入することで、女性医師のより積極的な病院運営参画を促す。</p>	III				<p>(5) 時差出勤制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、積極的な病院運営参画を促す。 	<p>(5) 時差出勤制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性医師1名に短時間勤務制度(週20時間)を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。 	III		

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標	4-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
46	(1) 弾力的運用の実施 医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した、診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。	III				(1) 弾力的運用の実施 ・ 医療需要の変化や患者動向に迅速に対応するため、継続的に地域医療連携推進協議会（年4回）や多治見病院運営協議会（年1回以上）を開催し、医療関係者や行政機関、地域住民等からの意見や要望を聴取する。 ・ 各診療部門の状況の変化に迅速に対応できるよう、医師、看護師、臨床心理士等の人事配置で弾力的な運用を心がける。	(1) 弾力的運用の実施 ・ 地域医療連携推進協議会を4回、多治見病院運営協議会を2月に開催し、地域内の医療関係者等から意見聴取を行った。また登録医を中心に訪問活動を実施し、医療ニーズの把握に努めた。 ・ 精神科病棟の開設に備え、精神保健福祉士1名を、医療相談業務の拡充のため、社会福祉士（MSW）2名を採用した。 ・ 医療連携を推進するため、新たに事務職員を1名、医療連携室に配置した。	III		
47	(2) 効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。	III				(2) 効果的な体制による医療の提供 ・ 昨年度、医師の業務負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を7名採用した。今年度は、その効果を検証しながら、4～5名を増員し、診療報酬における医師事務作業「50:1」補助体制加算を目指すことで、さらなる医師の業務負担軽減を図る。 ・ 県のがん診療連携拠点病院地域連携強化事業、生活習慣病医療連携事業を活用し、社会福祉士の資格を持つ連携コーディネーター2名による連携パスの普及・運用、退院調整の更なる推進を図る。 ・ 県の医療再生緊急雇用事業を活用し、派遣職員を入院案内センターのアテンダント及び診療録管理室Aに起用する。	(2) 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師事務作業補助者を増員し、3部署での運用を7部署に拡充した。文書作成、オーダー入力業務などを行うことにより、医師の業務負担軽減を図った。 【医師事務作業補助者配置部署】	IV		
							H22	H23		
							・ 内科 ・ 整形外科 ・ 中央手術室	・ 内科 ・ 整形外科 ・ 中央手術室 ・ 外科 ・ 脳神経外科、泌尿器科 ・ 産婦人科 ・ 口腔外科		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<p>【医師・看護師事務作業補助者数】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>7人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>8人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 連携コーディネーターの採用により、連携バスの普及、運用に努めた。</p> <p>・ 入院案内センターへ派遣職員を配置し、円滑な入院案内とこれによる医療職の負担軽減、患者サービスの向上を図った。同様に診療録管理室への配置により、円滑な院内がん登録作業の遂行を図った。</p>	区分\年度	H 2 2	H 2 3	医師クラーク	7人	16人	看護クラーク	8人	9人	合計	15人	25人			
区分\年度	H 2 2	H 2 3																			
医師クラーク	7人	16人																			
看護クラーク	8人	9人																			
合計	15人	25人																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																											
48	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 3法人間の人事交流により（人材活用のネットワーク化）適正な職員配置を確保する。	III				(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 （人材活用のネットワーク化） ・ 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間 で人事交流を積極的に行う。特に看護師、薬剤 師、臨床検査技師、理学療法士といった医療技 術職員を相互に派遣し、適正な職員配置を行う ことで各地域における医療サービスの水準を維 持する。	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 （人材活用のネットワーク化） 【職員の他法人への出向状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣先、職種別内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>臨床検査技師 2名</td> </tr> </tbody> </table> 【他法人職員の受入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣元、職種別内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">岐阜県総合医療センター</td> <td>看護師 1名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師 2名</td> </tr> <tr> <td>計 3名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下呂温泉病院</td> <td>看護師 1名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士 1名</td> </tr> <tr> <td>計 2名</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	医師	0人	0人	コメディカル	7人	3人	合計	7人	3人	派遣先	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	下呂温泉病院	臨床検査技師 2名	区分\年度	H22	H23	医師	0人	0人	看護師	2人	2人	コメディカル	6人	3人	合計	8人	5人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	看護師 1名	薬剤師 2名	計 3名	下呂温泉病院	看護師 1名	理学療法士 1名	計 2名	III		
区分\年度	H22	H23																																																			
医師	0人	0人																																																			
コメディカル	7人	3人																																																			
合計	7人	3人																																																			
派遣先	人数及び職員の内訳																																																				
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																				
下呂温泉病院	臨床検査技師 2名																																																				
区分\年度	H22	H23																																																			
医師	0人	0人																																																			
看護師	2人	2人																																																			
コメディカル	6人	3人																																																			
合計	8人	5人																																																			
派遣元	人数及び職員の内訳																																																				
岐阜県総合医療センター	看護師 1名																																																				
	薬剤師 2名																																																				
	計 3名																																																				
下呂温泉病院	看護師 1名																																																				
	理学療法士 1名																																																				
	計 2名																																																				

2-1-3 人事評価システムの構築

中期 目標	4-1-3 人事評価システムの構築 職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
49	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。また、中期目標の期間内に当該制度の試行を実施する。	III				職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映する公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて検討を行う。	人事評価システムの構築に向けて、当院と同規模病院の先進事例調査を行った。今後は、コンサルタントへの業務委託を含め、検討を進める。	II		

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期 目標	4-1-4 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
50	病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するため、企業会計、庁舎管理、医事会計、電子カルテシステム等病院内各分野に精通した事務局職員を計画的に採用し育成する。 また、診療報酬事務、病院経営等の専門研修を実施し事務部門の総合的な専門性の向上を図る。	III				<ul style="list-style-type: none"> 事務部門については、担当する業務に関する専門的な研修に加え、事務部門が病院の経営管理や人事・労務・給与等の内部管理といった多岐にわたる業務を担当することから総合職としての資質を高める基本的な研修制度を確立していく。また、専門性を持った外部人材の確保に取り組む。 診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士等の資格取得を支援するとともに、業務委託しているレセプト点検・内査業務にも職員が積極的に関与していく。 医事業務委託業者と連携し、委託業者の内部職員向け研修へ病院職員が参加できる仕組みを構築し、窓口業務から診療報酬請求業務まで、事務部門職員の専門性向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門的な人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月1日付けで、病院職員の労働環境を整備するため社会保険労務士1名を採用した。 平成23年9月1日付けで、他の病院の事務経験者1名を採用した。 平成23年9月1日付けで、他の病院で相談業務に従事していた者1名を採用した。 ○職員の資質向上対策 <ul style="list-style-type: none"> 今年度から事務職員とコメディカル部門の職員を対象として、新規採用者には月1回（3時間）の基本的な研修を実施するとともに、新任の昇任者については階級別の研修を課している。この中で主査級職員6名については、3日間の民間企業研修を行った。【基本研修】 事務部門について宿泊研修を行い、県立3病院の事務職員22名が参加した。【専門研修】 事務職員の専門性の向上を図るため、医事課 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項												
							職員1名が診療情報管理士養成講座を、相談業務に従事する職員1名が「精神保健福祉士」の通信教育をそれぞれ受講し、2名とも資格を取得した。 ・ DPCコーディングの検証を主目的に毎月2回程度実施している医師を中心とした検証作業に事務局職員も参加し、知識向上に努めた。															
							【事務職員の状況】 (各年度末時点) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>8人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>23人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	プロパー職員	8人	20人	県派遣職員	23人	15人	合計	31人	35人			
区分\年度	H22	H23																				
プロパー職員	8人	20人																				
県派遣職員	23人	15人																				
合計	31人	35人																				

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期 目標	4-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善 4-2-1 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
51	民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。具体的には、病院関連委託業務（医療事務、給食、警備、清掃、薬剤、診療材料、寝具、洗濯等）について、「複数年契約」、「包括的業務委託」、「委託業務の集約化」などにより事務合理化及び費用の節減を図る。	IV				昨年度、病院関連の業務委託契約について、理事長が中心となり契約内容及び契約方法の再検討を行い、全体的な見直しを行った。今年度も引き続き他県先行地方独立行政法人や民間病院の取り組みを参考に、事務合理化及び費用の節減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティングを導入し、契約手法や費用について検討を行った。 医事業務委託については、プロポーザル方式による複数年契約の採用や成果報酬制度の導入等、仕様内容を大幅に見直し、費用の節減、事務の合理化を図った。 看護補助業務、院内洗濯業務、SPD(物流管理)運用業務を包括契約とした。 これまで専用部と共用部に分けて契約をしてい 	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							た清掃業務について、一本化することを決定し、 契約金額の削減を図った。			

2-2-2 収入の確保

中期 目標	4-2-2 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
52	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 平成21年4月1日から本格的に運用の始まったDPC (Diagnosis Procedure Combination の略、診断群分類) は、①医療の質の向上と情報開示、②医療の標準化と透明化、③標準的な治療と価格を患者に明らかにする等を目的に、「1入院あたり人的・物的に医療資源を最も投入した傷病名を」を一つだけ選択し、その傷病名に最も適切な診断群分類のコーディングにより、入院の1日当たりの包括点数が決定され、この包括点数には、主な検査や投薬、処置料が包括されている。</p> <p>よって、医療資源を最も投入した傷病名の選択、診断群分類のコーディング等、効果的な運用及び推進を図るとともに、効率的な検査、投薬等の推進を図り、出来高の活用も図っていく。また、診療科に制限されない効率的な病床管理、医療機器の効率的な活用を図る。</p>	III				<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に導入したDPC分析システムを活用し、院内のDPC委員会において、在院日数や医療資源などの各種指標について他院とのベンチマークを通じて現状を把握し、より効率的な病床管理、検査や投薬、医療機器の運用に役立て、医業収益の向上につなげる。 ・ 特に、院内クリティカルパスについては標準化と効率的な運用を確立することで、効果的な病床管理を目指す。 	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DPCデータ分析にあわせ、カルテ内容、診療状況等からコーディングの再検証を行い、DPC運用にかかる問題点の把握と対応策の検討などを行った。 ・ DPCデータを活用した、他院との比較分析を実施し、DPC委員会 (隔月、年6回開催) において提案するなど、診療業務の効率化を図った。 <p>【病床管理状況の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td>77.0</td> <td>77.2</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>13.0</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,145</td> <td>1,158</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">患者1当たり 診療時間</td> <td>入院</td> <td>54,931</td> <td>55,134</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>12,161</td> <td>12,689</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	病床稼働率 (%)	77.0	77.2	平均在院日数	13.0	13.2	一日当たり外来患者数	1,145	1,158	患者1当たり 診療時間	入院	54,931	55,134	外来	12,161	12,689	III		
項目\年度	H22	H23																											
病床稼働率 (%)	77.0	77.2																											
平均在院日数	13.0	13.2																											
一日当たり外来患者数	1,145	1,158																											
患者1当たり 診療時間	入院	54,931	55,134																										
	外来	12,161	12,689																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
53	(2) 未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求漏れ防止を徹底するために内査の強化を図るとともに、未収金発生時での防止を徹底するために相談窓口の拡充を図る。	III				(2) 未収金の発生防止対策等 <ul style="list-style-type: none"> 入院時説明の徹底、入院申込時の連帯保証人確認、生活保護や公費負担医療制度の活用により、未収金の発生防止に力点を置く。 未収金が発生した場合は、未収理由により分類管理し、迅速で効果的な督促を（文書、電話、訪問等）行う。 一定期間経過後の未収金については、回収業務を弁護士法人へ委託する。 	(2) 未収金の発生防止対策等 <ul style="list-style-type: none"> 入院案内センターにおける入院時説明において、公費負担制度の説明もあわせて行った。必要に応じ、医療相談を勧め、未収金の発生防止に努めた。 発生した未収金については、速やかな督促を行い、ボーナス時期には職員による臨宅を実施し、回収に努めた。 6ヶ月経過した者については弁護士事務所へ回収委託を行った。 <p>平成23年度回収実績 5,998千円</p> <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>891</td> <td>54,091</td> <td>682</td> <td>39,909</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>1,115</td> <td>83,877</td> <td>1,888</td> <td>75,823</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,006</td> <td>137,968</td> <td>2,570</td> <td>115,732</td> </tr> </tbody> </table>		H22		H23		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	891	54,091	682	39,909	現年分	1,115	83,877	1,888	75,823	合計	2,006	137,968	2,570	115,732	III		
	H22		H23																															
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																														
過年分	891	54,091	682	39,909																														
現年分	1,115	83,877	1,888	75,823																														
合計	2,006	137,968	2,570	115,732																														

2-2-3 費用の削減

中期目標	4-2-3 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
54	(1) 薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内 在庫を必要最小限に抑える。また、後発医薬品（ジ ェネリック医薬品）の積極的採用・他病院の契約 単価の調査などにより薬品費・診療材料費の節減 を図る。	II				(1) 医薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内 在庫を必要最小限に抑える。また、後発医薬品 （ジェネリック医薬品）の積極的採用（採用率を 金額ベース・採用品目ベースともに平成22年度 実績以上）や他病院の契約単価の調査などによ り、医薬品については15%、診療材料につい ては10%（対医業収益比率）を目標として費用の 節減を図る。	(1) 医薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内 在庫を必要最小限に抑えた。また、コンサルテ ィングを導入して、ディーラーやメーカーのピア リングを基に価格交渉を行い、医薬品については 14.2%、診療材料については9.4%の対医業 収益比率節減となった。 【ジェネリック医薬品の使用比率】	III										
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>10.10%</td> <td>13.01%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>10.00%</td> <td>9.71%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	品目ベース	10.10%	13.01%	金額ベース	10.00%	9.71%		
区分\年度	H22	H23																
品目ベース	10.10%	13.01%																
金額ベース	10.00%	9.71%																
							【医業収益に対する材料費比率】											
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.40%</td> <td>14.20%</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>10.50%</td> <td>9.40%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	薬品費	14.40%	14.20%	診療材料費	10.50%	9.40%		
区分\年度	H22	H23																
薬品費	14.40%	14.20%																
診療材料費	10.50%	9.40%																
							【薬品費及び診療材料費】											
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>1,937,995千円</td> <td>1,958,884千円</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>1,423,213千円</td> <td>1,293,587千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	薬品費	1,937,995千円	1,958,884千円	診療材料費	1,423,213千円	1,293,587千円		
区分\年度	H22	H23																
薬品費	1,937,995千円	1,958,884千円																
診療材料費	1,423,213千円	1,293,587千円																

3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画

中期 目標	<p>5 財務内容の改善に関する事項</p> <p>5-1 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>5-2 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
55	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を 達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に	IV				「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を 達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に	医療連携の強化による外来患者数の増加や診療 単価の増などによる医業収益の増とともに、コンサ	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																																				
	実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。					実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	<p>ルタントを活用した価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力によって、経常収支比率は102.0%と目標を達成した。しかし、職員給与費対医業収益比率については、7対1看護体制に向けた看護師の増員等により51.5%となった。</p> <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>103.3%</td> <td>102.0%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>49.5%</td> <td>51.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	経常収支	103.3%	102.0%	職員給与費	49.5%	51.5%																																																																																																																																														
区分\年度	H22	H23																																																																																																																																																												
経常収支	103.3%	102.0%																																																																																																																																																												
職員給与費	49.5%	51.5%																																																																																																																																																												
	<p>3-1 予算 (平成22年度～平成26年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>70,064</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>65,820</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,861</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,493</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>2,226</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74,321</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>61,624</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>59,682</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>32,189</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>15,890</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>11,213</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>1,942</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>1,457</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>485</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	70,064	医業収益	65,820	運営費負担金収益	3,861	その他営業収益	383	営業外収益	538	運営費負担金収益	443	その他営業外収益	95	資本収入	3,719	長期借入金	1,493	運営費負担金	2,226	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	74,321	支出		営業費用	61,624	医業費用	59,682	給与費	32,189	材料費	15,890	経費	11,213	研究研修費	390	一般管理費	1,942	給与費	1,457	経費	485				<p>3-1 予算 (平成23年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>14,499</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>13,802</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,243</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>792</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>451</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,841</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>13,026</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>12,717</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>6,711</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,551</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,376</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	14,499	医業収益	13,802	運営費負担金収益	612	その他営業収益	85	営業外収益	99	運営費負担金収益	84	その他営業外収益	15	資本収入	1,243	長期借入金	792	運営費負担金	451	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	15,841	支出		営業費用	13,026	医業費用	12,717	給与費	6,711	材料費	3,551	経費	2,376	研究研修費	79	一般管理費	309	給与費	226	経費	83			<p>3-1 決算 (平成23年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>14,760</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>14,040</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>608</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>593</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,541</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>12,778</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>12,452</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>6,606</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,515</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,292</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	14,760	医業収益	14,040	運営費負担金収益	608	その他営業収益	112	営業外収益	141	運営費負担金収益	83	その他営業外収益	58	資本収入	593	長期借入金	136	運営費負担金	450	その他資本収入	7	その他の収入	47	計	15,541	支出		営業費用	12,778	医業費用	12,452	給与費	6,606	材料費	3,515	経費	2,292	研究研修費	39	一般管理費	326	給与費	251	経費	75
区 分	金 額																																																																																																																																																													
収入																																																																																																																																																														
営業収益	70,064																																																																																																																																																													
医業収益	65,820																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	3,861																																																																																																																																																													
その他営業収益	383																																																																																																																																																													
営業外収益	538																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	443																																																																																																																																																													
その他営業外収益	95																																																																																																																																																													
資本収入	3,719																																																																																																																																																													
長期借入金	1,493																																																																																																																																																													
運営費負担金	2,226																																																																																																																																																													
その他資本収入	0																																																																																																																																																													
その他の収入	0																																																																																																																																																													
計	74,321																																																																																																																																																													
支出																																																																																																																																																														
営業費用	61,624																																																																																																																																																													
医業費用	59,682																																																																																																																																																													
給与費	32,189																																																																																																																																																													
材料費	15,890																																																																																																																																																													
経費	11,213																																																																																																																																																													
研究研修費	390																																																																																																																																																													
一般管理費	1,942																																																																																																																																																													
給与費	1,457																																																																																																																																																													
経費	485																																																																																																																																																													
区 分	金 額																																																																																																																																																													
収入																																																																																																																																																														
営業収益	14,499																																																																																																																																																													
医業収益	13,802																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	612																																																																																																																																																													
その他営業収益	85																																																																																																																																																													
営業外収益	99																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	84																																																																																																																																																													
その他営業外収益	15																																																																																																																																																													
資本収入	1,243																																																																																																																																																													
長期借入金	792																																																																																																																																																													
運営費負担金	451																																																																																																																																																													
その他資本収入	0																																																																																																																																																													
その他の収入	0																																																																																																																																																													
計	15,841																																																																																																																																																													
支出																																																																																																																																																														
営業費用	13,026																																																																																																																																																													
医業費用	12,717																																																																																																																																																													
給与費	6,711																																																																																																																																																													
材料費	3,551																																																																																																																																																													
経費	2,376																																																																																																																																																													
研究研修費	79																																																																																																																																																													
一般管理費	309																																																																																																																																																													
給与費	226																																																																																																																																																													
経費	83																																																																																																																																																													
区 分	金 額																																																																																																																																																													
収入																																																																																																																																																														
営業収益	14,760																																																																																																																																																													
医業収益	14,040																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	608																																																																																																																																																													
その他営業収益	112																																																																																																																																																													
営業外収益	141																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	83																																																																																																																																																													
その他営業外収益	58																																																																																																																																																													
資本収入	593																																																																																																																																																													
長期借入金	136																																																																																																																																																													
運営費負担金	450																																																																																																																																																													
その他資本収入	7																																																																																																																																																													
その他の収入	47																																																																																																																																																													
計	15,541																																																																																																																																																													
支出																																																																																																																																																														
営業費用	12,778																																																																																																																																																													
医業費用	12,452																																																																																																																																																													
給与費	6,606																																																																																																																																																													
材料費	3,515																																																																																																																																																													
経費	2,292																																																																																																																																																													
研究研修費	39																																																																																																																																																													
一般管理費	326																																																																																																																																																													
給与費	251																																																																																																																																																													
経費	75																																																																																																																																																													

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	営業外費用	722					営業外費用	144		営業外費用	139			
	資本支出	8,654					資本支出	2,599		資本支出	1,459			
	建設改良費	4,972					建設改良費	1,654		建設改良費	513			
	償還金	3,624					償還金	932		償還金	931			
	その他資本支出	58					その他資本支出	13		その他資本支出	15			
	その他の支出	165					その他の支出	17		その他の支出	47			
	計	71,165					計	15,786		計	14,423			
	(注記 略)						(注記 略)				(注記 略)			
	3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)						3-2 収支計画 (平成23年度) (単位:百万円)				3-2 収支実績 (平成23年度) (単位:百万円)			
	区分	金額					区分	金額			区分	金額		
	収益の部	70,530					収益の部	14,583			収益の部	14,651		
	営業収益	69,997					営業収益	14,484			営業収益	14,457		
	医業収益	65,728					医業収益	13,782			医業収益	13,762		
	運営費負担金収益	3,861					運営費負担金収益	612			運営費負担金収益	599		
	資産見返負債戻入	30					資産見返負債戻入	6			資産見返負債戻入	6		
	その他営業収益	378					その他営業収益	84			その他営業収益	90		
	営業外収益	533					営業外収益	99			営業外収益	147		
	運営費負担金収益	443					運営費負担金収益	84			運営費負担金収益	83		
	その他営業外収益	90					その他営業外収益	15			その他営業外収益	64		
	臨時利益	0					臨時利益	0			臨時利益	47		
	費用の部	70,559					費用の部	14,576			費用の部	14,465		
	営業費用	67,758					営業費用	14,014			営業費用	13,864		
	医業費用	65,914					医業費用	13,673			医業費用	13,490		
	給与費	33,854					給与費	6,773			給与費	6,816		
	材料費	15,150					材料費	3,386			材料費	3,354		
	経費	11,061					経費	2,289			経費	2,199		
	減価償却費	5,474					減価償却費	1,149			減価償却費	1,086		
	研究研修費	375					研究研修費	76			研究研修費	35		
	一般管理費	1,844					一般管理費	341			一般管理費	374		
	給与費	1,349					給与費	235			給与費	276		
	減価償却費	50					減価償却費	26			減価償却費	25		
	経費	445					経費	80			経費	73		
	営業外費用	2,636					営業外費用	545			営業外費用	445		
	臨時損失	115					臨時損失	7			臨時損失	156		
	予備費	50					予備費	10			予備費	0		

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H23 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証			
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	純利益	- 29					純利益	7		純利益	186			
	目的積立金取崩額	0					目的積立金取崩額	0		目的積立金取崩額	0			
	総利益	- 29					総利益	7		総利益	186			
	3-3 資金計画 (平成22年度～平成26年度) (単位: 百万円)						3-3 資金計画 (平成23年度) (単位: 百万円)				3-3 資金実績 (平成23年度) (単位: 百万円)			
	区 分	金 額					区 分	金 額			区 分	金 額		
	資金収入	76,702					資金収入	18,598			資金収入	18,912		
	業務活動による収入	70,602					業務活動による収入	14,598			業務活動による収入	14,796		
	診療業務による収入	65,820					診療業務による収入	13,802			診療業務による収入	13,785		
	運営費負担金による収入	4,304					運営費負担金による収入	696			運営費負担金による収入	692		
	その他の業務活動による収入	478					その他の業務活動による収入	100			その他の業務活動による収入	319		
	投資活動による収入	2,226					投資活動による収入	451			投資活動による収入	57		
	運営費負担金による収入	2,226					運営費負担金による収入	451			運営費負担金による収入	39		
	その他の投資活動による収入	0					その他の投資活動による収入	0			その他の投資活動による収入	18		
	財務活動による収入	1,493					財務活動による収入	792			財務活動による収入	547		
	長期借入による収入	1,493					長期借入による収入	792			長期借入による収入	136		
	その他の財務活動による収入	0					その他の財務活動による収入	0			その他の財務活動による収入	411		
	前事業年度からの繰越金	2,381					前事業年度からの繰越金	2,757			前事業年度からの繰越金	3,512		
	資金支出	76,702					資金支出	18,598			資金支出	18,912		
	業務活動による支出	62,468					業務活動による支出	13,177			業務活動による支出	12,862		
	給与費支出	33,647					給与費支出	6,937			給与費支出	5,215		
	材料費支出	15,890					材料費支出	3,551			材料費支出	3,543		
	その他の業務活動による支出	12,931					その他の業務活動による支出	2,689			その他の業務活動による支出	4,104		
	投資活動による支出	5,029					投資活動による支出	1,666			投資活動による支出	737		
	有形固定資産の取得による支出	4,972					有形固定資産の取得による支出	1,654			有形固定資産の取得による支出	722		
	その他の投資活動による支出	57					その他の投資活動による支出	12			その他の投資活動による支出	15		
	財務活動による支出	3,624					財務活動による支出	932			財務活動による支出	926		
	長期借入金の返済による支出	332					長期借入金の返済による支出	35			長期借入金の返済による支出	34		
	前掲地方債償還額の償還による支出	3,292					前掲地方債償還額の償還による支出	860			前掲地方債償還額の償還による支出	860		
	その他財務活動による支出	0					その他財務活動による支出	37			その他財務活動による支出	32		
	翌事業年度への繰越金	5,581					翌事業年度への繰越金	2,823			翌事業年度への繰越金	4,387		

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	/	/	/	/	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 実績なし	/	/	

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	なし	/	/	/	/	なし	なし	/	/	

6 剰余金の使途

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	なし	/	/	

7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

7-1 職員の就労環境の向上

中期目標	6 その他業務運営に関する重要事項
	6-1 職員の就労環境の向上 職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、不足している医療従事者（特に看護師）を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
56	(1) 医療従事者の業務負担を軽減し、本来の業務に専念できるようにするため、必要な人数を迅速に確保することで、病院全体の勤務環境の改善を図る。	III				(1) 昨年度に引き続き、県の「医師事務作業補助者養成促進事業」を活用し、2名の医師事務作業補助者を採用する。さらに病院独自に3名を採用し、各診療科への配置拡大を図る。書類作成や電子カルテへの入力補助などにより、医師の業務負担軽減を促進する。あわせて診療報酬における医師事務作業「50:1」補助体制加算を目指す。	(1) 医療従事者の業務負担軽減 ・ 医師事務作業補助者の増員（7→16人）し、配置診療科を拡大（3→7科）した。 ・ 書類作成の補助により、作成日数の短縮を図るとともに、診察室におけるオーダー入力を補助することにより、診察時間の短縮に努めた。 【医師事務作業補助者等の状況】（各年度末時点）	III																
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>109人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>396人</td> <td>426人</td> </tr> <tr> <td>医師クラーク</td> <td>7人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>8人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	常勤医師数	109人	103人	常勤看護師数	396人	426人	医師クラーク	7人	16人	看護クラーク	8人	9人			
区分\年度	H22	H23																						
常勤医師数	109人	103人																						
常勤看護師数	396人	426人																						
医師クラーク	7人	16人																						
看護クラーク	8人	9人																						
57	(2) 育児中の女性職員のために院内保育所の受け入れ体制を強化する。具体的には、保育対象年齢の引き上げ、病後児保育の追加を検討する。また、保育対象年齢引き上げに伴う受け入れ人数増加に対応するため、既存保育施設の増築及び一部改修を進める。さらに時差出勤制度の導入により、仕事と家庭の両立を図る。	III				(2) 育児中の女性職員を支援するため、院内保育所の受け入れ体制を強化する。昨年度の保育時間延長に引き続き、近隣病院の運営状況を参考に保育対象年齢の見直し、病後児保育、夜間保育の早期実現を目指す。あわせて必要な保育士数確保に努める。	(2) 保育施設を利用する職員から要望の強かった「病児保育」を平成23年10月1日から開始した。（利用実績8名） また、夜間保育について看護部の全職員を対象としたアンケートを実施し、平成24年度の実施についての検討を行った。 【院内保育所の運営状況】（各年度末時点）	III																
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	入所者数	37人	44人	保育士数	10人	9人									
区分\年度	H22	H23																						
入所者数	37人	44人																						
保育士数	10人	9人																						
58	(3) 看護師については、7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。	III				(3) 看護師については、7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。 ・ 就職ガイダンスへの参加、学校訪問、高等学校への出前講座に参加する。 ・ 中学生、高校生を対象としたふれあい看護体験を実施する。	(3) 県外（名古屋市）で開催される就職ガイダンスに参加するとともに、各種学校への参加のほか、インターネットや、新聞紙面への広告掲載等、各種広報媒体を活用した募集活動を実施した。その結果、看護師50名、助産師2名を採用することができた。 また、ワークライフバランスの確立のため、育児部分休業制度の活用を推進し、5名の看護師が	III																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> 看護学生を対象とした奨学金制度の導入を検討する。 仕事と家庭を両立させるため、育児短時間勤務や育児部分休業の活用を推進する。 	利用した。			
59	(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努める。	III				<p>(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努める。</p> <p>法定健診（定期健康診断、人間ドック）、任意検査等（各種抗体検査、各種予防接種）を実施する。</p> <p>○定期健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤・日々雇用職員を含む職員全員に対して5～6月頃に実施する。 未受診者及び中途採用者に対し12月頃に追加で実施する。 要精密検査等の指示のあった者に対しては、精密検査受診勧奨を行う。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> 30歳代偶数年齢及び40歳以上の正職員のうち希望者に対して実施する。 受診費用については多治見病院と共済組合・互助会から助成する。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤・日々雇用職員を含む職員全員に対して実施する。 陰性者に対しては病院経費によりワクチン接種を行う。 <p>○麻疹・風疹等4種抗体検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度と平成22年度に職員全員を対象に検査を実施し、陰性者のうち希望者にはワクチン接種を行った。 本年度以降は新規採用者および転入者のみ検査を実施する。 	<p>(4) 全職員を対象とした健康診断及びメンタルヘルス対策の充実に努めた。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月から精神科医師による相談窓口を開設し、職員の抱える心の問題について早期に適切な処置が行われるよう取り組んだ。 研修医においては専門医による医学的なメンタルチェックを年2回実施し、必要に応じてフォローを行った。 <p>○定期健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員を含む全職員に対して6月から7月にかけて実施した。 未受診者及び中途採用者に対しては12月に追加で実施した。 要精密検査等の指示のあった者に対して、文書により精密検査の受診勧奨を行った。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> 30歳代偶数年齢及び40歳以上の正職員のうち希望者に対して実施した。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝炎に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対し、肝炎検査を実施した。 陰性者に対してはワクチン接種を行った。 <p>○麻疹・風疹等4種抗体検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度までの陰性者及び新規採用職員、転入者について検査を実施した。 陰性者のうち希望者にはワクチン接種を行った。 <p>○結核検診</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							<ul style="list-style-type: none"> 結核菌に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対し、結核検診として定期健康診断とあわせて2回の胸部X線撮影を行った。また、新たに血液検査を実施した。 			

7-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期 目標	6-2 県及び他の地方独立行政法人との連携 人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																						
60	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III				医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III 【職員の他法人等への出向状況】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣先、職種別内訳) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>臨床検査技師 2名</td> </tr> <tr> <td>看護専門学校</td> <td>看護師 1名</td> </tr> </tbody> </table> 【他法人職員の受入状況】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣元、職種別内訳)	区分\年度	H 2 2	H 2 3	医師	0人	0人	看護師	1人	1人	コメディカル	7人	3人	合計	8人	4人	派遣先	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	下呂温泉病院	臨床検査技師 2名	看護専門学校	看護師 1名	区分\年度	H 2 2	H 2 3	医師	0人	0人	看護師	2人	2人	コメディカル	6人	3人	合計	8人	5人			
区分\年度	H 2 2	H 2 3																																														
医師	0人	0人																																														
看護師	1人	1人																																														
コメディカル	7人	3人																																														
合計	8人	4人																																														
派遣先	人数及び職員の内訳																																															
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																															
下呂温泉病院	臨床検査技師 2名																																															
看護専門学校	看護師 1名																																															
区分\年度	H 2 2	H 2 3																																														
医師	0人	0人																																														
看護師	2人	2人																																														
コメディカル	6人	3人																																														
合計	8人	5人																																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項										
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">岐阜県総合医療センター</td> <td>看護師 1名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師 2名</td> </tr> <tr> <td>計 3名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下呂温泉病院</td> <td>看護師 1名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士 1名</td> </tr> <tr> <td>計 2名</td> </tr> </tbody> </table>	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	看護師 1名	薬剤師 2名	計 3名	下呂温泉病院	看護師 1名	理学療法士 1名	計 2名			
派遣元	人数及び職員の内訳																			
岐阜県総合医療センター	看護師 1名																			
	薬剤師 2名																			
	計 3名																			
下呂温泉病院	看護師 1名																			
	理学療法士 1名																			
	計 2名																			

7-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	6-3 医療器械・施設整備 医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項			
61	<p>(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して着実に実施する。</p> <table border="1"> <tr> <td>施設及び設備の内容</td> <td>予定額(単位:百万円)</td> <td>財源</td> </tr> </table>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	III				<ul style="list-style-type: none"> 医療機器については、高い必要性、各科の治療実績やその取り組み方、費用対効果などを考慮して、優先順位をつけて整備する。 施設整備委員会の検討結果に基づき、昨年度から工事に着手している病棟機能移転後の空きスペースを活用した施設整備(内視鏡室、外来点滴センター、中央採血室など)については、早期に工事を完了し、患者の利便性向上、身体的負担の 	<ul style="list-style-type: none"> 地域がん診療連携拠点病院として地域の医療需要に対応することを目的に、がんの放射線治療レベルを向上させ、患者さんの負担を軽減できる高精度放射線治療装置を導入することとし、購入契約を締結した。 新病棟への機能移転後の空きスペースを活用した既存棟の施設整備(内視鏡室、外来点滴センター、中央採血室など)工事を完了し、患者の利便 	III		
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源											

項目 No.	中期計画			過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
				H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
	病院施設、医療機器等整備	4,972	設立団体からの 長期借入金等					軽減を目指す。 (単位：百万円)	性向上を図った。											
								<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>972</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>682</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,654</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	医療機器等整備	972	施設等整備	682	計	1,654				
区分	金額																			
医療機器等整備	972																			
施設等整備	682																			
計	1,654																			

7-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期 目標	6-4 法人が負担する債務の償還に関する事項 法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。 また、その債務の処理を確実にすること。
----------	--

項目 No.	中期計画				過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
					H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
62	法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に 行っていく。 (単位：百万円)				III				法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に 行う。	企業債平成23年度償還額（元本） 9月 2億 3千 1百万円 3月 6億 6千 3百万円 計 8億 9千 4百万円 【債務の償還状況（合計）】 (単位：百万円)	III																							
	区分	中期目標期 間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額						<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>932</td> <td>932</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>895</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td></td> <td>558</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td></td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3,624</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	932	932	23年	895	861	24年		558	25年		668	26年		605	中期計画期間計		3,624			
年度	実績	計画																																
22年	932	932																																
23年	895	861																																
24年		558																																
25年		668																																
26年		605																																
中期計画期間計		3,624																																
									(内訳) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画																					
年度	実績	計画																																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
						22 年	9 3 2	9 3 2			
						23 年	8 6 1	8 6 1			
						24 年		4 4 7			
						25 年		5 5 7			
						26 年		4 9 5			
						中期計画期間計		3, 2 9 2			
						長期借入金償還額 (単位：百万円)					
						年度	実績	計画			
						22 年		0			
						23 年	3 4	0			
						24 年		1 1 1			
						25 年		1 1 1			
						26 年		1 1 0			
						中期計画期間計		3 3 2			